2027年3月期(第43期)
第2四半期　決算資料(詳細版)

2026年11月12日

テクマトリックス株式会社(コード:3762)

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

目次

1. 第2四半期(累計)業績報告

2. 2027年3月期　上期連結業績　予実差異

3. 2027年3月期　業績予想

4. (再掲)持続的な企業価値向上を実現する資本配分について

5. 事業活動トピックス

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

1. 第2四半期(累計)業績報告

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) 連結業績

- 主要経営指標(連結)

売上収益	営業利益	受注高	受注残高
+16.8% 前年同期比 38,999百万円	+10.5% 前年同期比 3,507百万円	+23.1% 前年同期比 53,745百万円	+22.2% 前年同期比 120,262百万円

ストック比率	連続増収記録	NOBORIに画像を保管している患者数	NOBORIに保存している検査件数
83.5% 単体+PSP	24期連続 2026年3月期末	7,611万人	5.2億検査

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) 連結業績

- 売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する中間利益のいずれも2Q累計としては過去最高を記録。

(百万円)

*FY2025 2Q=2025.4~2025.9 FY2026 2Q=2026.4~2026.9	FY2025 2Q	FY2026 2Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	33,377	38,999	+5,621	+16.8%
営業利益	3,174	3,507	+333	+10.5%
(営業利益率)	(9.5%)	(9.0%)		(▲0.5P)
税引前利益	3,201	3,569	+368	+11.5%
親会社の所有者に帰属する中間利益	2,104	2,373	+268	+12.7%

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) 連結業績(セグメント別)

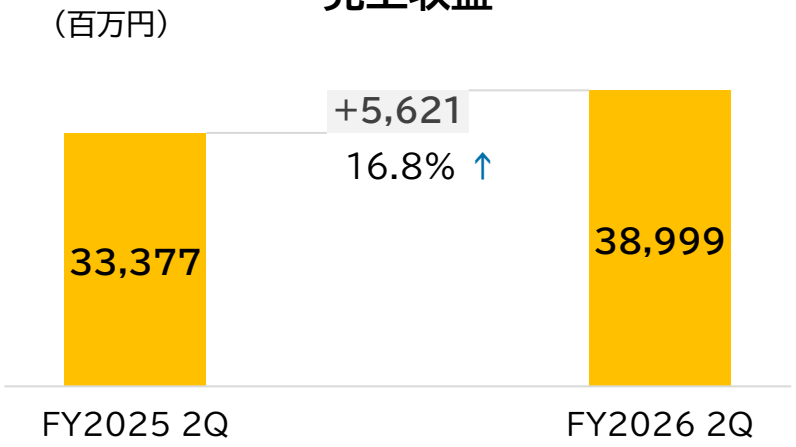
(百万円)

		FY2025 2Q			FY2026 2Q			前年同期比	
		実績	構成比	利益率	実績	構成比	利益率	増減額	増減率
売上収益		33,377	100.0%		38,999	100.0%		+5,621	+16.8%
	情報基盤	24,229	72.6%		28,872	74.0%		+4,642	+19.2%
	アプリ・サ	4,716	14.1%		5,458	14.0%		+742	+15.7%
	医療システム	4,431	13.3%		4,668	12.0%		+236	+5.3%
営業利益		3,174	100.0%	9.5%	3,507	100.0%	9.0%	+333	+10.5%
	情報基盤	2,926	92.2%	12.1%	3,220	91.8%	11.2%	+294	+10.0%
	アプリ・サ	▲53	▲1.7%	▲1.1%	206	5.9%	3.8%	+260	-
	医療システム	301	9.5%	6.8%	80	2.3%	1.7%	▲221	▲73.3%

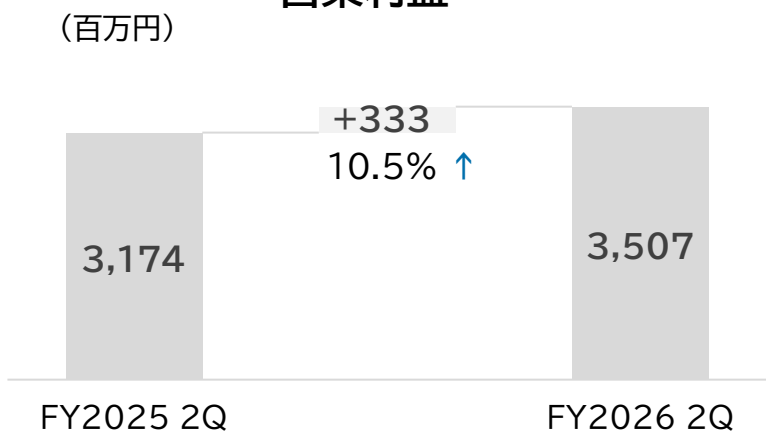
Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) 連結業績

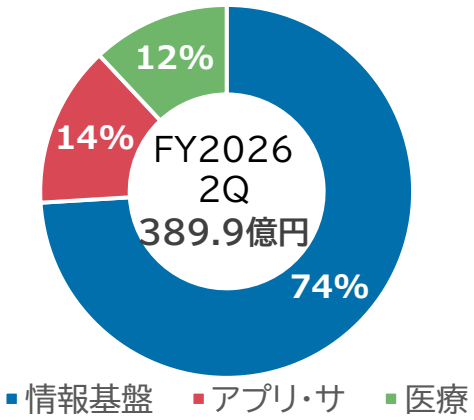
売上収益



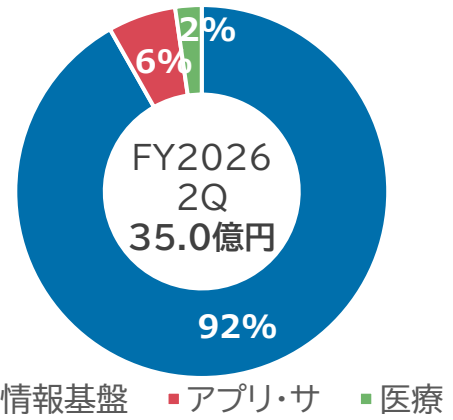
営業利益



売上収益構成比



営業利益構成比

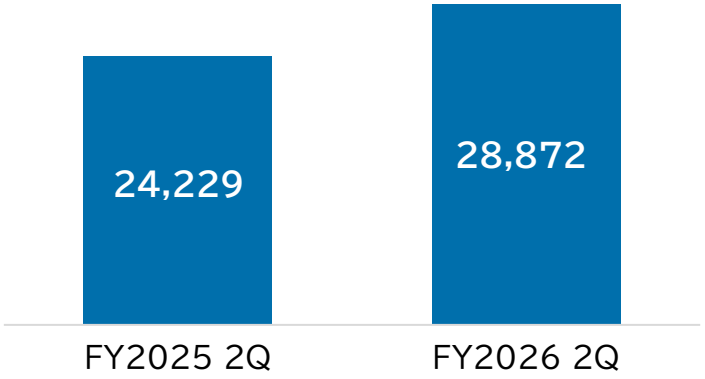


Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

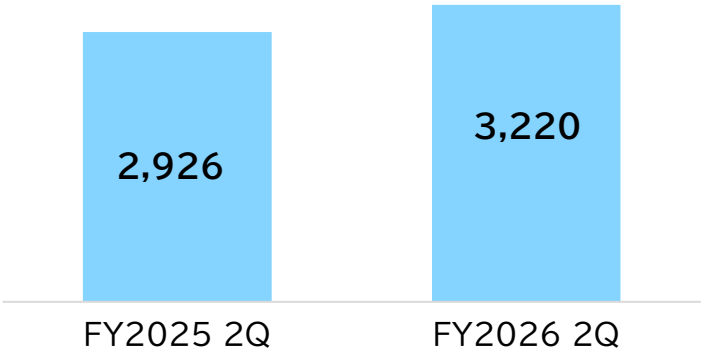
2027年3月期 2Q(累計) 連結業績 セグメント別業績 情報基盤事業

売上収益

(百万円)



営業利益



売上収益・営業利益は2Q累計としては過去最高を更新。

前年同期比

売上収益

+4,642 百万円　+19.2%

(+) 従来のクラウド型セキュリティ対策製品に加え、
AIを活用したSOC業務の自動化ソリューションのクロスセルが進展
(+) 複数年契約のサブスクリプションの積み上がり

営業利益

+294 百万円　+10.0%

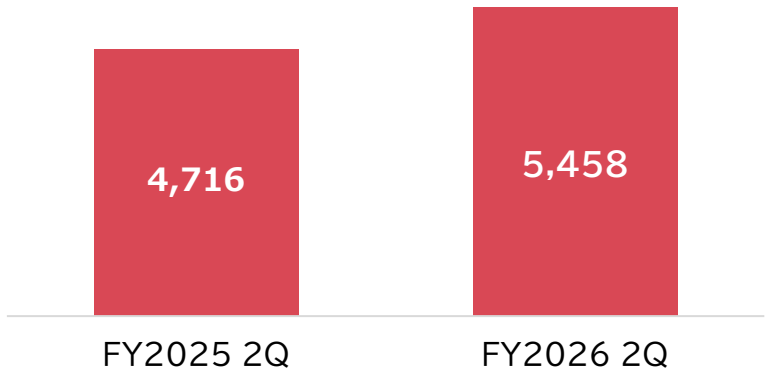
(+) Firmus、クロス・ヘッド、OCHの営業利益が前年同期比で改善
(−) 一部製品における価格競争の激化に加え、前期に獲得した
大型高採算案件の反動減により収益性が低下

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

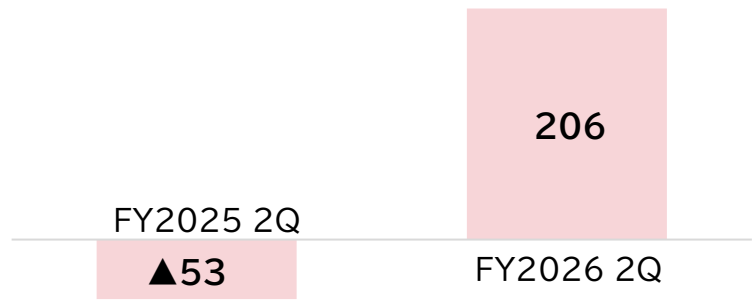
2027年3月期 2Q(累計) 連結業績 セグメント別業績 アプリ・サ事業

売上収益

(百万円)



営業利益



売上収益は前年同期比で増加。
営業利益は前年同期比で大幅に改善し、黒字化。

前年同期比

売上収益

+742 百万円　+15.7 %

(+) クラウド型コンタクトセンターCRMシステム(FastHelp)の需要が好調(CRM)
(+) ストック案件の新規受注の積み上がりにより、売上に占めるストック割合が増加し、売上伸長(CRM、SE、EdTech)
(+) 学術・公共ソリューションが好調(BS)

営業利益

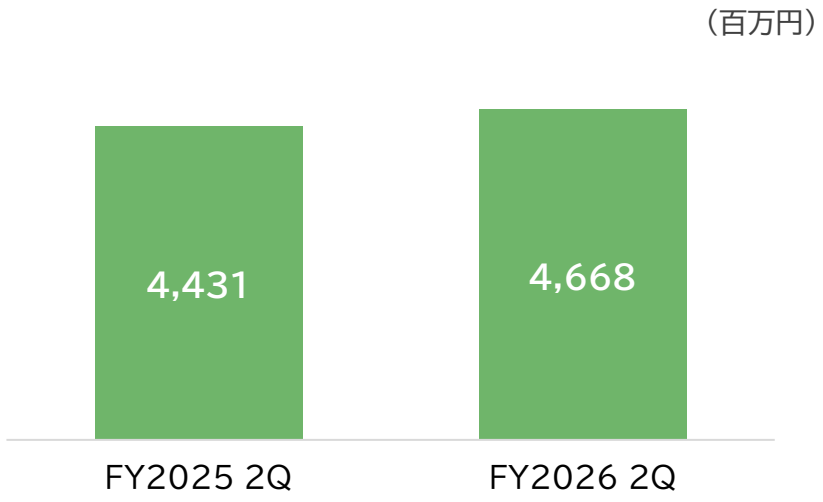
+260 百万円　－ %

(+) 売上の伸長に対し、販管費の増加を抑制(CRM)

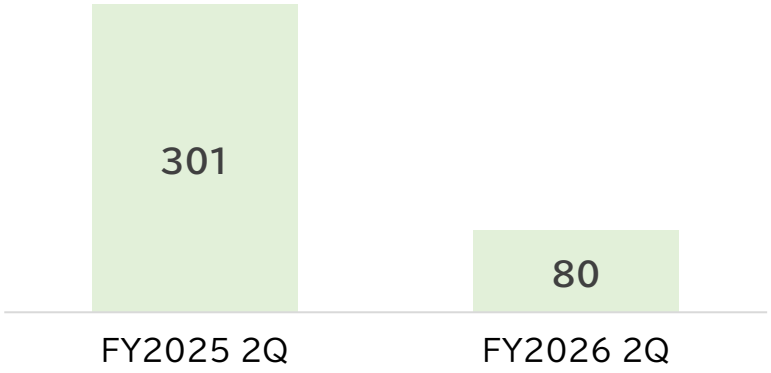
Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) 連結業績 セグメント別業績 医療システム事業

売上収益



営業利益



売上収益は前年同期比で増加。
営業利益は投資フェーズであるメドメイン社の期間損失計上や、投資コストの増加により前年同期比で減少。

前年同期比

売上収益

+236百万円　　+5.3%

(+) 医療情報クラウドサービス・PHRアプリ「NOBORI」が順調
(+) A-Lineが順調
(+) メドメイン社期間売上(2026年5～9月)計上
(−) クラウドシフトに伴い、一括計上の売上が減少

営業利益

▲221百万円　　▲73.3%

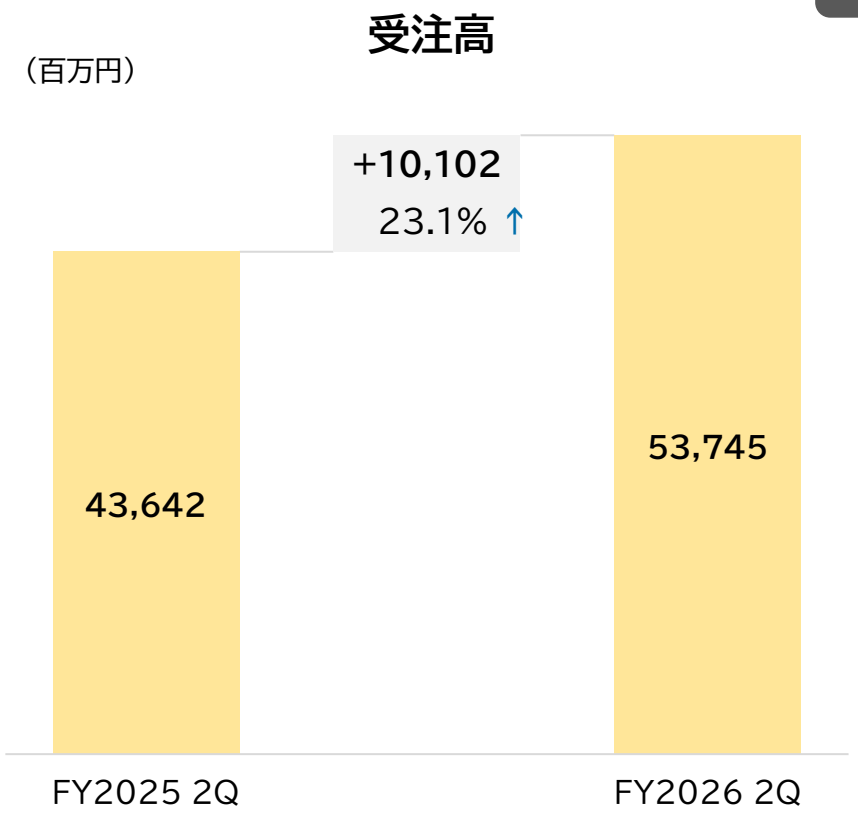
(−) 人件費および投資コストの増加(PSP)
(−) メドメイン社期間損失(2026年5～9月)計上

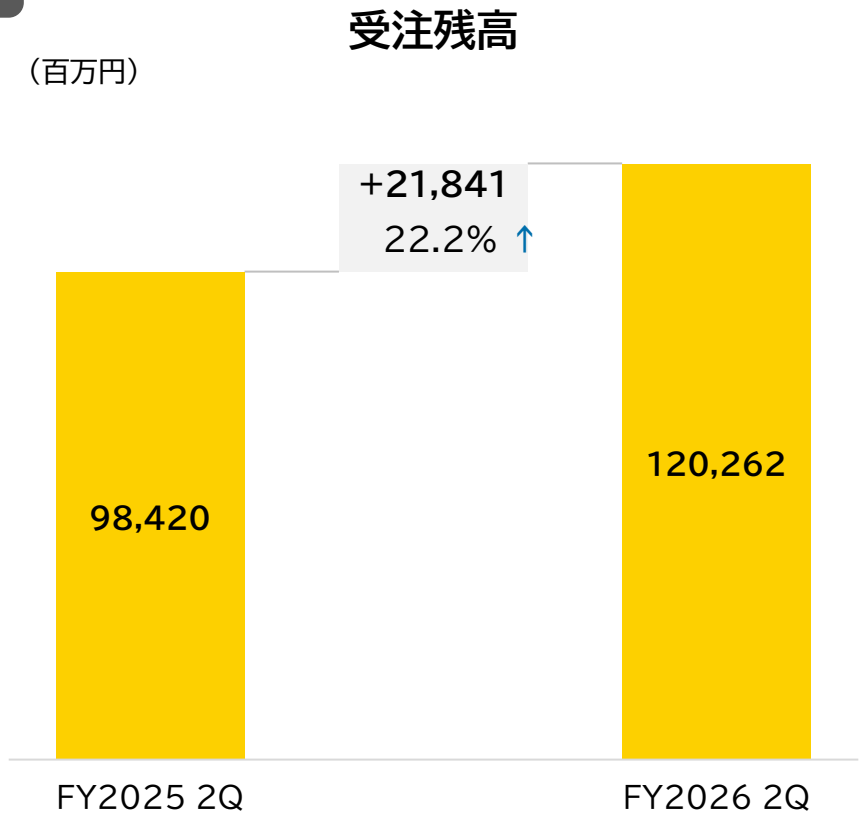
Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q時点 受注高と受注残高(連結)

- 連結受注高は、情報基盤事業で新規案件の獲得に加え、大型更新案件が複数あったことにより、前年同期比で増加。
- 連結受注残高は、全セグメントで前年同期比増加。

全社合計



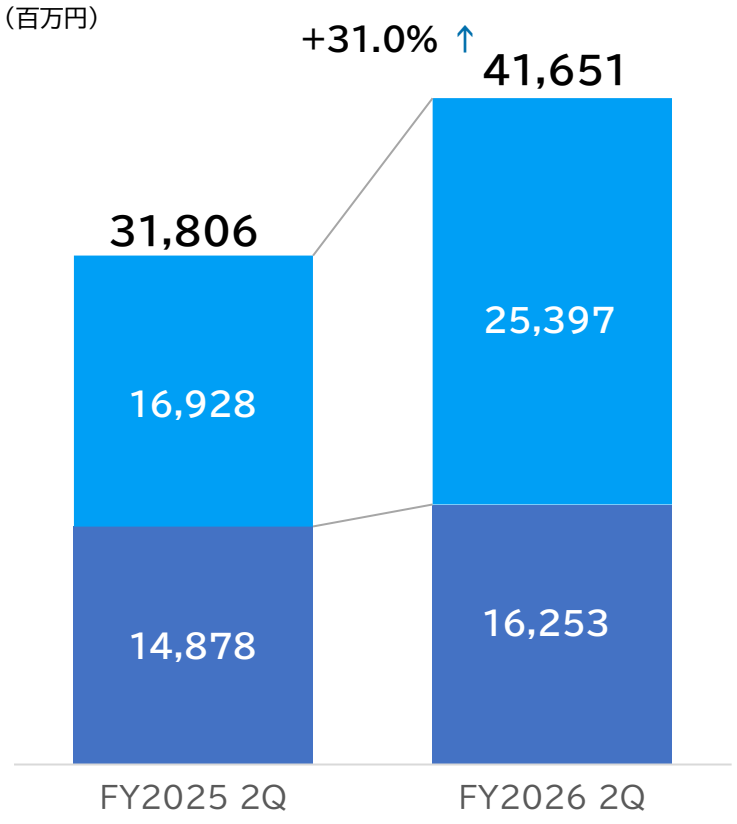


Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

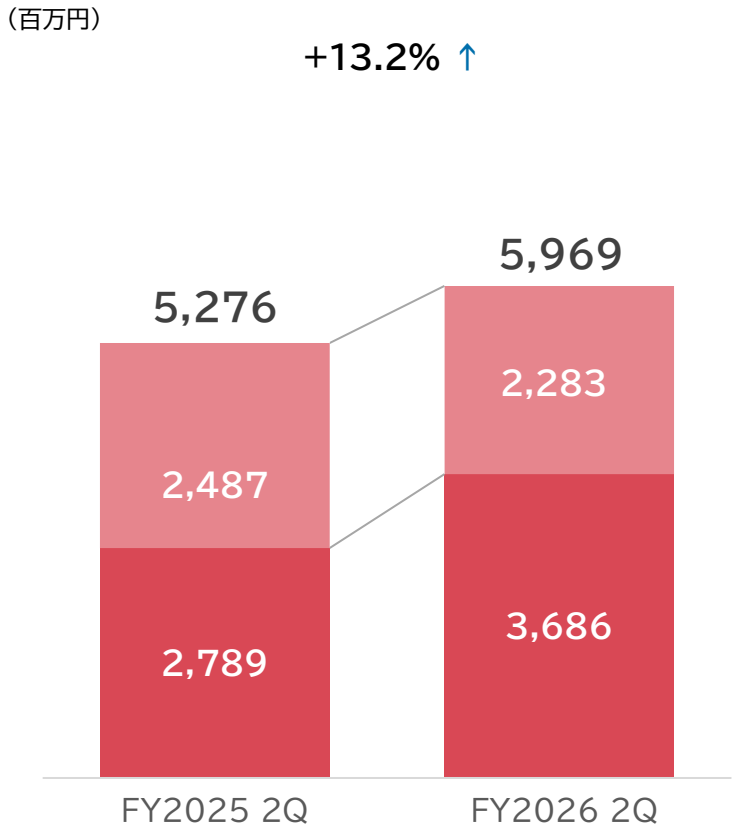
2027年3月期 2Q(累計) セグメント別 受注高(連結)

情報基盤事業:従来のクラウド型セキュリティ製品に加え、SOC業務の自動化ソリューションのクロスセルが進展。
新規案件の獲得と、大型を含む更新案件の着実な積み上げにより好調に推移。
アプリケーション・サービス事業: CRM分野・ソフトウェア品質保証分野、ビジネスソリューション分野が好調。
医療システム事業:前期にAI事業大型案件の受注を獲得したことによる反動減により、前年同期比で減少。
医用画像管理システム(PACS)は、新規案件の獲得、更新案件の着実な積み上げにより堅調に推移。

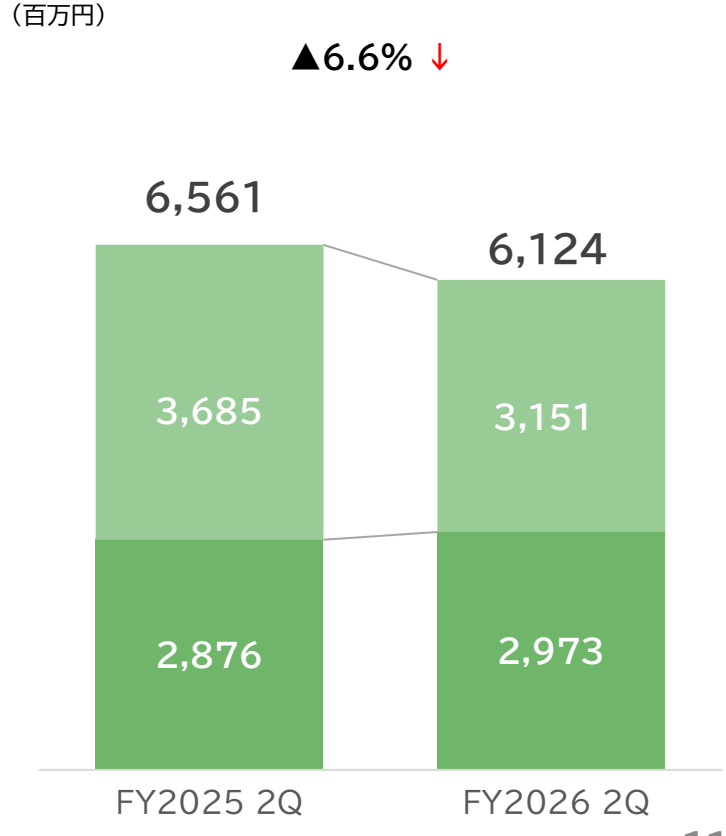
情報基盤事業



アプリケーション・サービス事業



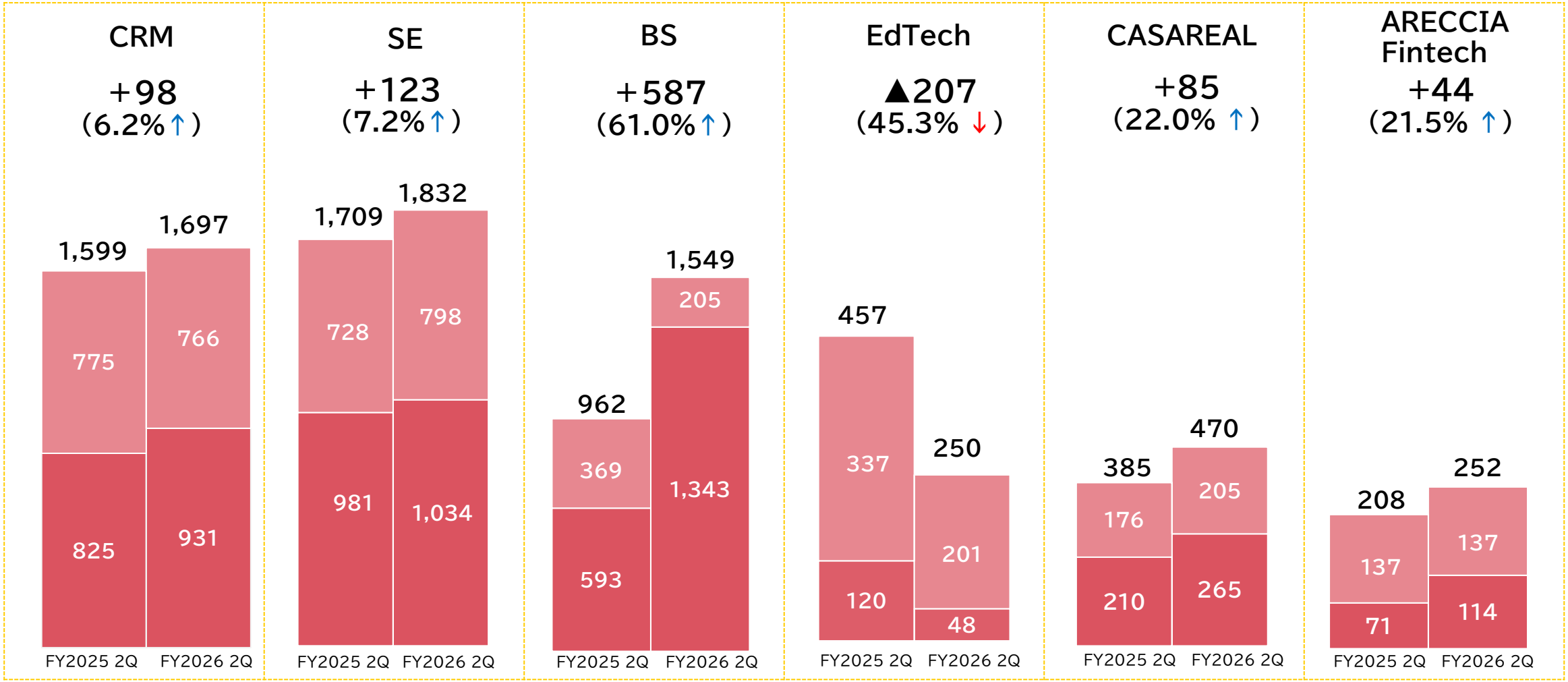
医療システム事業



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計)
アプリケーション・サービス事業　分野別　受注高

（百万円）※連結調整前の数値



事業略称
CRM:コンタクトセンター・コールセンター
SE:ソフトウェア品質保証
BS:ビジネスソリューション
EdTech:教育

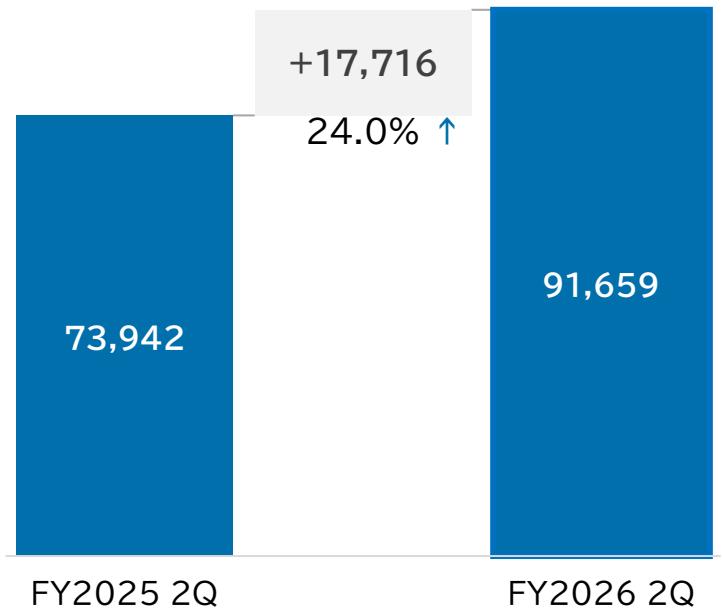
Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) セグメント別 受注残高(連結)

- サブスクリプションビジネスの積み上げ(ストックビジネス強化)により、増加傾向。

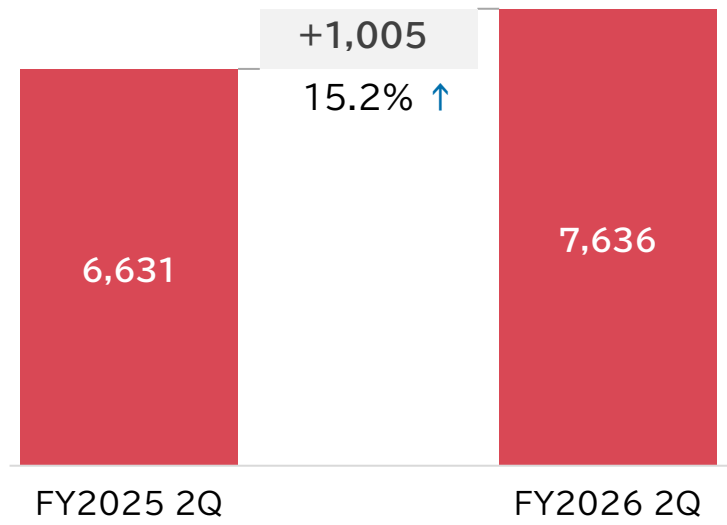
情報基盤事業

(百万円)



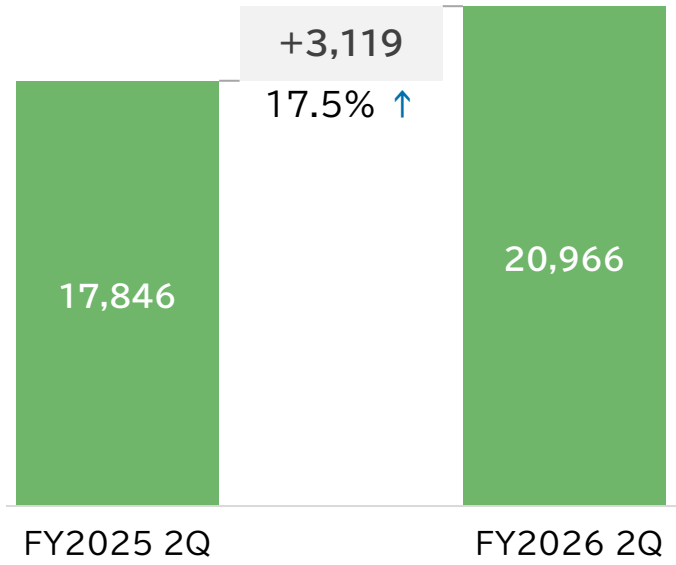
アプリケーション・サービス事業

(百万円)



医療システム事業

(百万円)

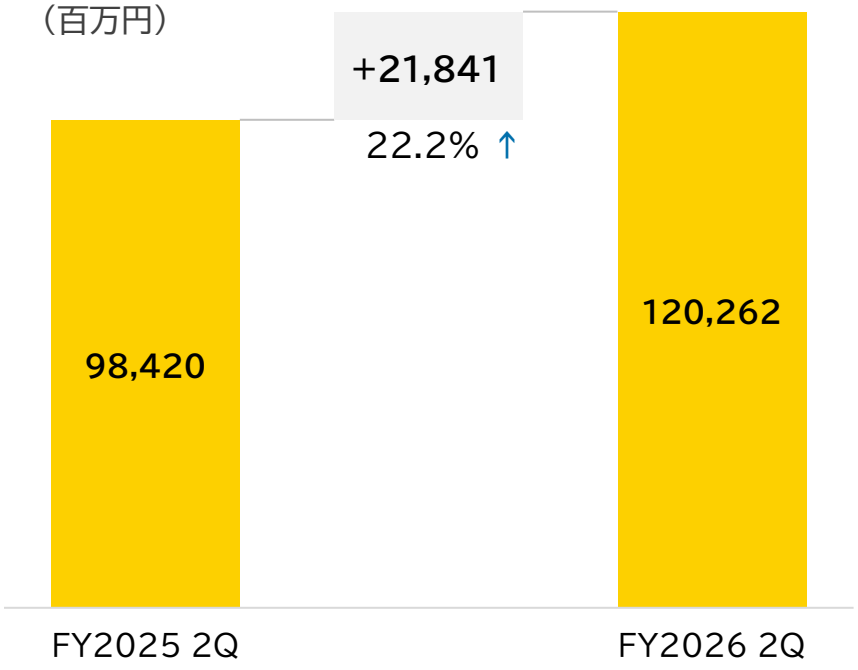


Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) 受注残高の状況(単体)

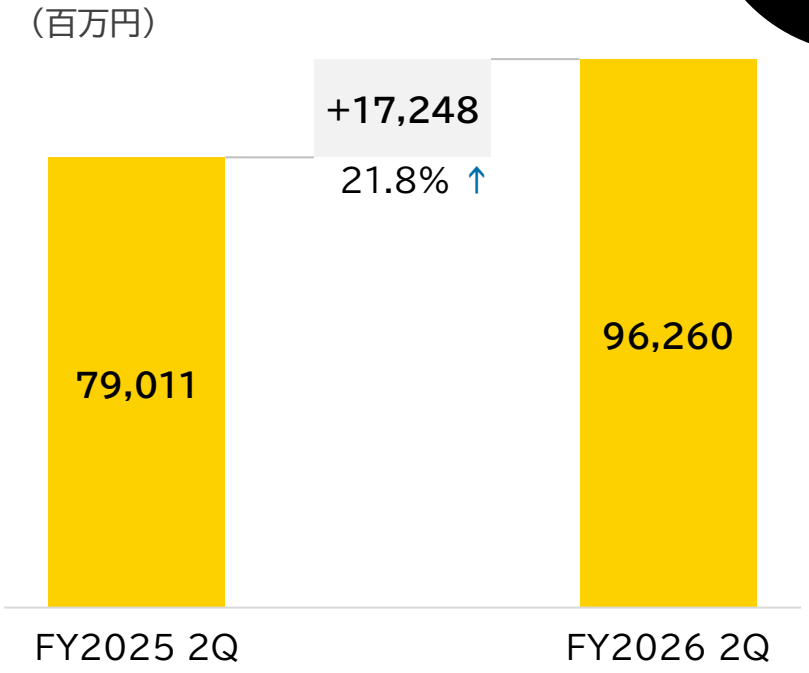
- テクマトリックス単体での受注残高の状況は以下のとおりです。

連結実績



単体実績

連結受注残高の約80%

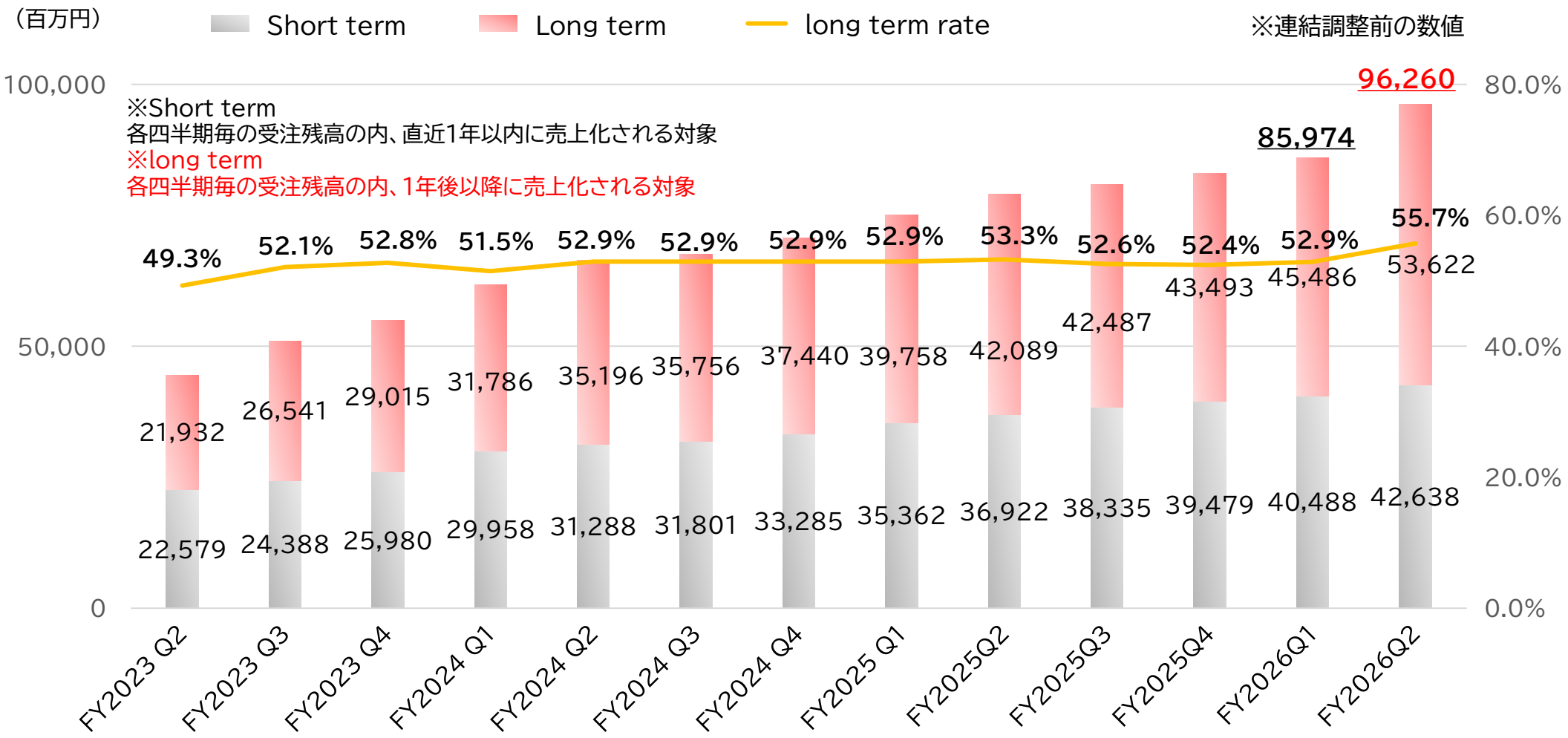


※連結調整前の数値

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

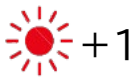
2027年3月期 2Q時点 受注残高(単体全体)

- テクマトリックス**単体での受注残高の内訳**は以下のとおりです。



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) セグメント別 お天気図(売上高ベース)

情報基盤事業	 +10%以上  +10%未満  ±5%未満  △10%未満  △10%以上	前年同期比
次世代ファイアウォール（Palo Alto）	•従来のクラウド型セキュリティ対策製品に加え、SOC業務の自動化ソリューションのクロスセルが進展。 ストック型ビジネスが着実に積み上がり、売上が伸長。	
次世代型メールセキュリティソリューション（Proofpoint）	•DMARCを活用してなりすましメールに対応するクラウド型ソリューションのストック案件の積み上げにより売上が伸長。	
アンチウイルス，不正侵入防御，セキュリティイベント管理，Webセキュリティ(Trellix,Skyhigh)	• 不正侵入防御製品のリプレース案件を中心に売上が伸長。	
ストレージ製品（Dell, Cohesity）	• メディア・エンターテインメント業界を中心に、中規模案件を積み上げ、売上が伸長。	
負荷分散装置等（F5）	•トラフィック管理・ロードバランサ(Edge)の大型リプレース案件獲得により、売上が伸長。	
個人認証システム，フォレンジック製品（RSA）	• NetWitnessのリプレース案件が堅調に推移。	
セキュリティ運用・監視サービス(TPS)	• クラウド型セキュリティ対策製品の需要拡大に牽引され、TPSが堅調に推移。	
その他セキュリティ製品	•ネットワーク端末脅威対策プラットフォームの引き合いが好調。	
クロス・ヘッド，OCH	• クロス・ヘッド：メールセキュリティ関連製品が好調に推移し、売上が伸長。 • OCH：新型UTM製品の新たなラインナップの受注が寄与し、売上が伸長。	
Firmus	• セキュリティソリューションビジネスの新規受注が好調に推移。 ストック案件の積み上げにより売上が伸長。	

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期 2Q(累計) セグメント別 お天気図(売上高ベース)

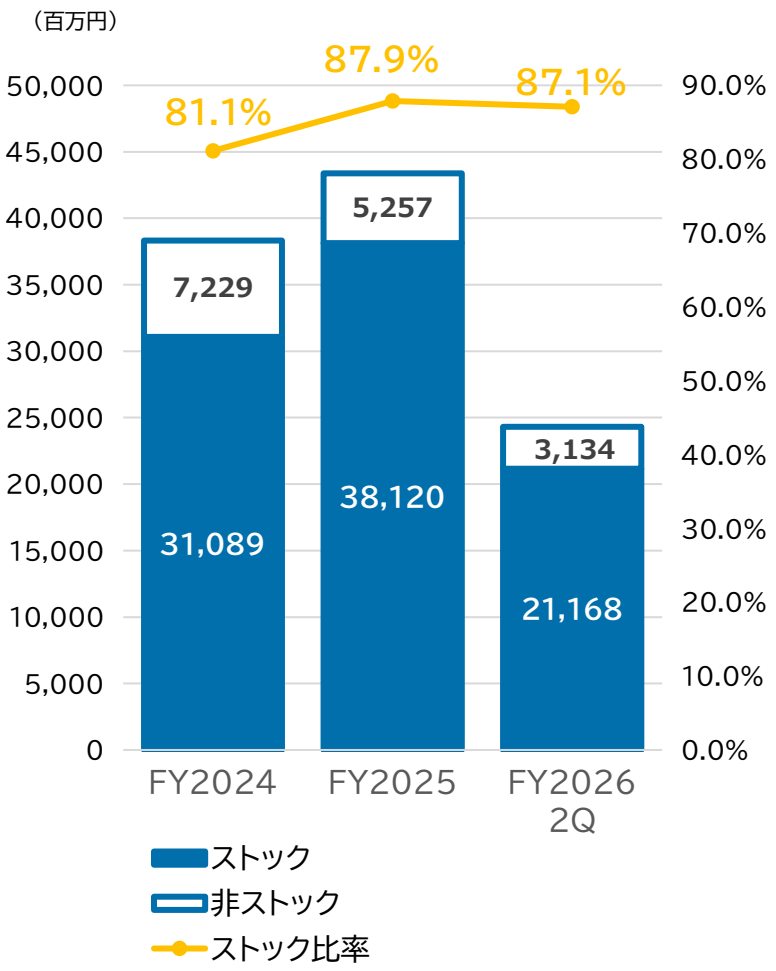
アプリケーション・サービス事業	☀☀ +10%以上　☀ +10%未満　🌤 ±5%未満　☁ △10%未満　🌧 △10%以上	前年同期比
CRM分野	• 市場環境は好調。ストック案件の新規受注の積み上がりにより、売上に占めるストック割合が増加し、売上が伸長。	☀☀
ソフトウェア品質保証分野	• ストック案件の新規受注の積み上がりにより、売上に占めるストック割合が増加し、売上が伸長。	☀☀
ビジネスソリューション分野	• 学術・公共ソリューションが好調に推移し、売上が伸長。	☀☀
教育分野	• 私立先進校に加え公立校への導入が進み、積み上げにより売上が伸長。	☀☀
カサレアル	• IT研修などの教育事業が堅調に推移し、売上が伸長。	☀
アレクシアフィンテック	• 前年同期比で売上が伸長。	☀🌤
医療システム事業	☀☀ +10%以上　☀ +10%未満　🌤 ±5%未満　☁ △10%未満　🌧 △10%以上	前年同期比
PSP	• 継続的なクラウドシフトにより、クラウド型PACSの契約数が増加し、売上が伸長。 • クラウド型PACSの新規契約・更新・リプレースはいずれも堅調。	☀☁
医知悟	• 安定した読影実績を維持し、前年同期並みで推移。	☀☁
A-Line	• 医療機関の診療用放射線の安全管理体制に対する投資意欲の向上により、医療機関放射線量管理システムの導入実績を拡大。	☀☀

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

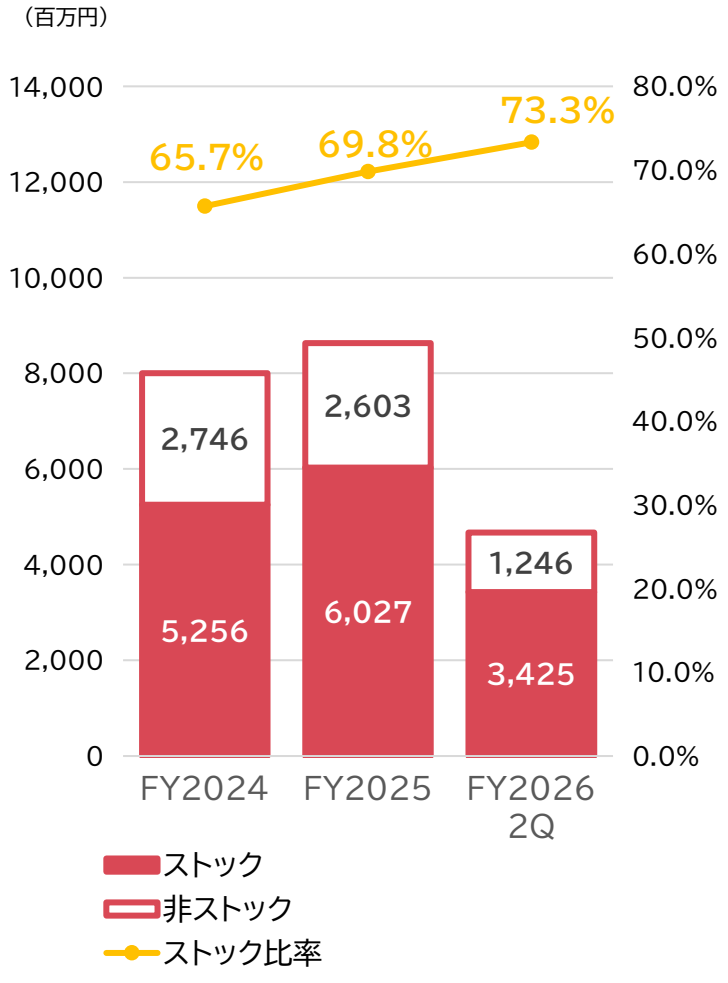
ストック比率の進捗状況(単体、PSP株式会社)

- ストック比率(単体+PSP):83.5%

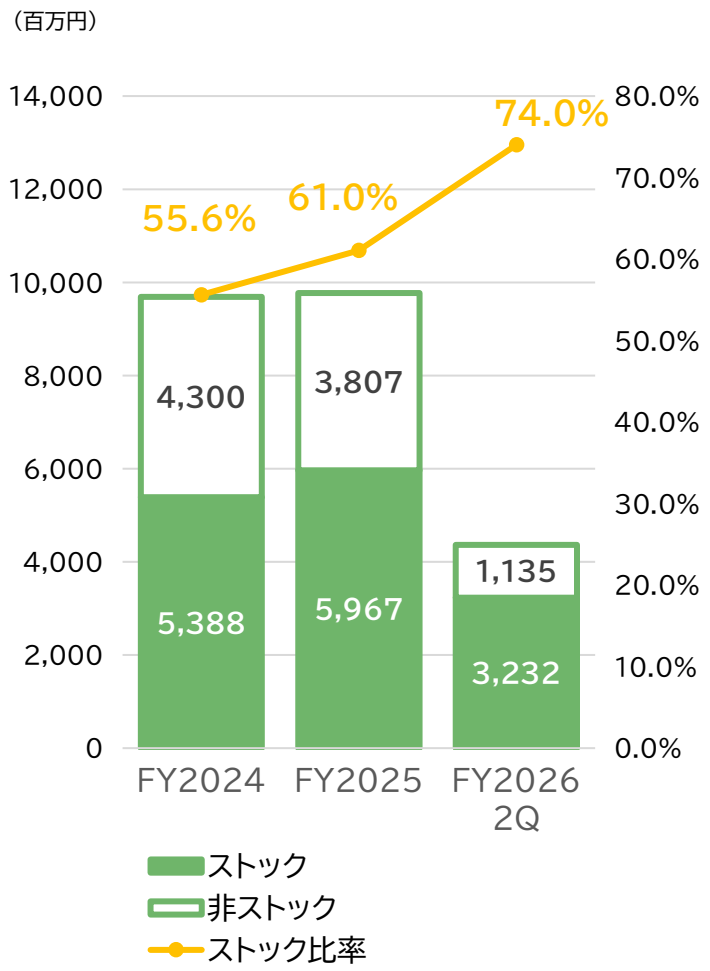
情報基盤事業



アプリケーション・サービス事業



医療システム事業



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

連結財政状態計算書

※当社では、顧客から契約時に前受金を受領し、ライセンス費用等を先行して支払うビジネスモデルを採用しており、総資産額が拡大します。
自己資本比率は構造上低く見える場合がありますが、将来の売上収益となる前受金の積み上がりによるものです。

（百万円）	FY2025	FY2026 2Q		FY2025	FY2026 2Q
流動資産合計	**101,405**	**104,370**	**流動負債合計**	**82,780**	**88,752**
現金及び現金同等物	35,801	27,313	営業債務及びその他の債務	2,715	2,315
営業債権及びその他の債権	7,035	5,779	借入金	200	204
その他流動資産（※）	58,568	71,277	その他流動負債（※）	79,865	86,232
非流動資産合計	**20,126**	**23,690**	**非流動負債合計**	**6,070**	**6,397**
有形固定資産	5,426	6,402	借入金	1,550	1,459
のれん	4,509	7,013	その他非流動負債	4,520	4,938
無形資産	3,828	4,335	**資本合計**	**32,680**	**32,909**
投資・その他の資産	6,361	5,939	資本金・資本剰余金合計	4,306	4,317
			自己株式	△918	△1,902
			利益剰余金	21,902	23,054
			その他の資本の構成要素	1,036	866
			親会社の所有者に帰属する持分合計	26,327	26,335
			非支配持分	6,353	6,574
資産合計	**121,531**	**128,060**	**負債及び資本合計**	**121,531**	**128,060**

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

従業員の推移

FY2025	1Q	2Q	3Q	4Q
情報基盤	801 (+134)	804 (+145)	797 (+38)	800 (+21)
アプリ・サ	461 (+45)	464 (+43)	469 (+48)	473 (+44)
医療システム	484 (+35)	488 (+31)	489 (+32)	486 (+21)
全社(共通)	66 (+12)	66 (+8)	66 (+4)	66 (+1)
連結合計	1,812 (+226)	1,822 (+227)	1,821 (+122)	1,825 (+87)

FY2026	1Q	2Q	3Q	4Q
情報基盤	826 (+25)	838 (+34)		
アプリ・サ	491 (+30)	491 (+27)		
医療システム	516 (+32)	517 (+29)		
全社(共通)	67 (+1)	70 (+4)		
連結合計	1,900 (+88)	1,916 (+94)		

FY2025	1Q	2Q	3Q	4Q
単体合計	652 (+64)	654 (+56)	659 (+54)	666 (+47)

FY2026	1Q	2Q	3Q	4Q
単体合計	694 (+42)	703 (+49)		

※従業員数は就業人員
※括弧書きは前年同期比

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2. 2027年3月期 上期連結業績　予実差異

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

上期連結業績予実差異

- 売上収益、営業利益ともに業績予想水準で着地。

	FY2026 上期		業績予想比	
	業績予想 (5/8発表)	実績	増減額	増減率
売上収益	39,000	38,999	▲0	▲0.0%
営業利益	3,400	3,507	+107	+3.2%
営業利益率	(8.7%)	(9.0%)		(+0.3P)
税引前利益	3,430	3,569	+139	+4.1%
親会社の所有者に帰属する中間利益	2,300	2,373	+73	+3.2%

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

3. 2027年3月期 業績予想

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

2027年3月期　連結業績予想

2026年5月発表時の期初計画を据え置き。

（百万円）

	FY2025	FY2026	前期比較	
	実績	業績予想	増減額	増減率
売上収益	71,733	81,800	+10,067	+14.0%
営業利益	7,760	8,200	+440	+5.7%
営業利益率	(10.8%)	(10.0%)		(▲0.8P)
税引前利益	7,861	8,280	+419	+5.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,178	5,380	+202	+3.9%

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

セグメント別業績予想（前期比）

2026年5月発表時の期初計画を据え置き。

（百万円）

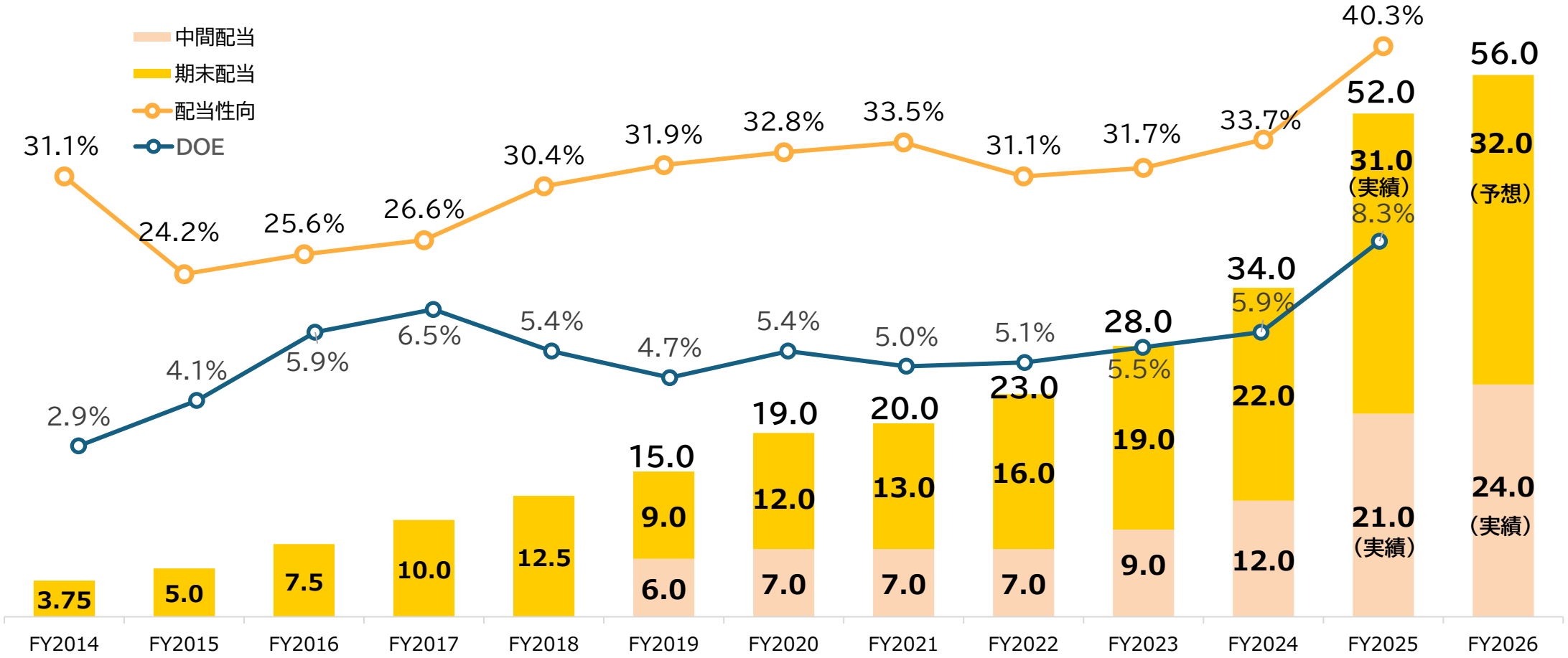
売上収益	FY2025	FY2026	前期比較	
	実績	業績予想	増減額	増減率
情報基盤事業	51,620	59,500	+7,880	+15.3%
アプリ・サ事業	9,884	11,130	+1,246	+12.6%
医療システム事業	10,229	11,170	+941	+9.2%

営業利益	FY2025	FY2026	前期比較	
	実績	業績予想	増減額	増減率
情報基盤事業	6,579	7,240	+661	+10.0%
アプリ・サ事業	▲148	200	+348	―
医療システム事業	1,329	760	▲569	▲42.8%

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

株主還元　配当金

- 11期連続増配中



※2017年3月1日及び2020年7月1日付で、それぞれ株式1株につき2株の株式分割を行っておりますため、
過年度の配当実績額につきましては株式分割が行われたと仮定して表示しております。

※FY2020より国際会計基準(IFRS)に基づいてDOEを計算しております。

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

（再掲）

4.持続的な企業価値向上を実現する資本配分について

強固な収益基盤の証明とAI時代の競争優位性

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

強固な収益基盤とストックビジネスへの進化

目利き力

情報基盤事業・ソフトウェア品質保証分野

- 海外の最先端のテクノロジーの発掘と提供
- 最先端のテクノロジー選定力と日本市場での豊富な実績

業務ノウハウ

医療システム事業・CRM分野・EdTech分野

- 特化する業界・業種向けのベストプラクティスをソリューションパッケージとして提供
- 特化する業界・業務に対する深い知見

2026年3月期実績

サブスクリプション契約の積み上げ
ストック比率※（テクマトリックス単体およびPSP）

81.1%

テクノロジーとソリューションパッケージに
フォーカスし、高い収益力

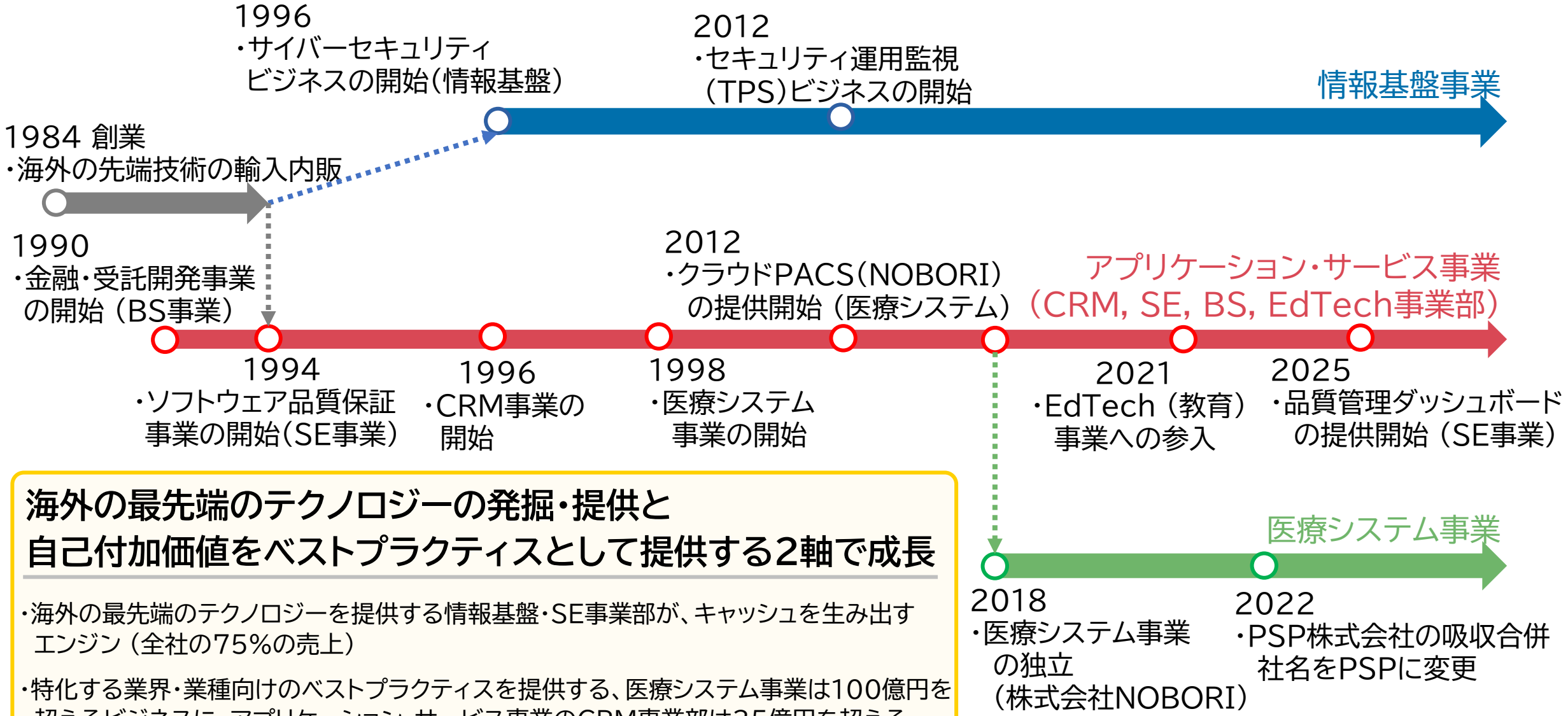
24期連続増収
12期連続増益

ROE 20.5%
資本コストは7%程度と想定

※継続的なビジネスから得られる売上収益の割合

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

強固なストックビジネスへの進化の軌跡



海外の最先端のテクノロジーの発掘・提供と自己付加価値をベストプラクティスとして提供する2軸で成長

・海外の最先端のテクノロジーを提供する情報基盤・SE事業部が、キャッシュを生み出すエンジン（全社の75%の売上）

・特化する業界・業種向けのベストプラクティスを提供する、医療システム事業は100億円を超えるビジネスに、アプリケーション・サービス事業のCRM事業部は35億円を超えるビジネスに成長、EdTech事業部は投資が先行しているが、将来の柱の1つに育成中

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

Anthropic Shock（アンソロピック・ショック）の状況下でも当社ビジネスの強みは揺るぎない

- 2026年初頭、米Anthropic社による自律型AIエージェント（Claude Cowork等）の発表を契機に発生したソフトウェアの役割の根本的変化とそれによる約42兆円（$285B）に及ぶソフトウェア市場の時価総額消失

1 従来型 SaaSユーザID課金とGUIの終焉

- **GUIの無用化：**AIエージェントが、直接システムを操作する時代
- **ID課金モデルの崩壊：**人に代わってAIタスク処理することで、ユーザベースの課金モデルが崩壊

該当事業は「AI時代のデータ基盤」ビジネスへ移行
（次スライド CRM事業にて解説）

2 低付加価値のSIビジネスの消滅

- **人月ビジネスモデルの限界：**「時間に対する対価」のビジネスが不成立
- **AIによる内製化：** AIがコーディングを代替し、開発工数が激減し、内製化が進展

当社の事業ポートフォリオに該当領域なし

3 レガシーシステム保守の崩壊

- **旧言語の自動モダナイゼーション：** Claude Code等の登場により、レガシーシステムを最新の言語に自動変換可能となり、延命・保守が消滅

当社の事業ポートフォリオに該当領域なし

4 デジタル労働のソーシングの直接代替

- **タスクの完全代替：** 単純なデジタルタスクはAIエージェントが仕事量の大半を浸食し、単価も数分の一に暴落

当社の事業ポートフォリオに該当領域なし

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

当社のビジネスはAIの進化により更に加速する

情報基盤事業

- セキュリティ機器による制御や攻撃からの防御は、AIでは代替不可能
- AIを組み込んだ次世代セキュリティソリューションやセキュリティ運用へのニーズの向上
- AIに対するセキュリティという新たな市場機会

CRM事業

- 「承認を必要とする」SLA対応・クレーム等の感情対応は人的関与が不可欠
- 成果・処理量ベースの課金モデルへの転換
- AI対応コンタクトセンター業務のデータ基盤へと進化させ、課金が増える構造を実現

SE事業

- 主力の自動車領域等では、ISO 26262等、極めて厳格な安全性・説明責任が要求され、AI単独での置き換えは困難
- AI駆動開発による高速化が逆に「品質リスク」を増大させ、検証・テストなどの需要が劇的に拡大

医療システム事業

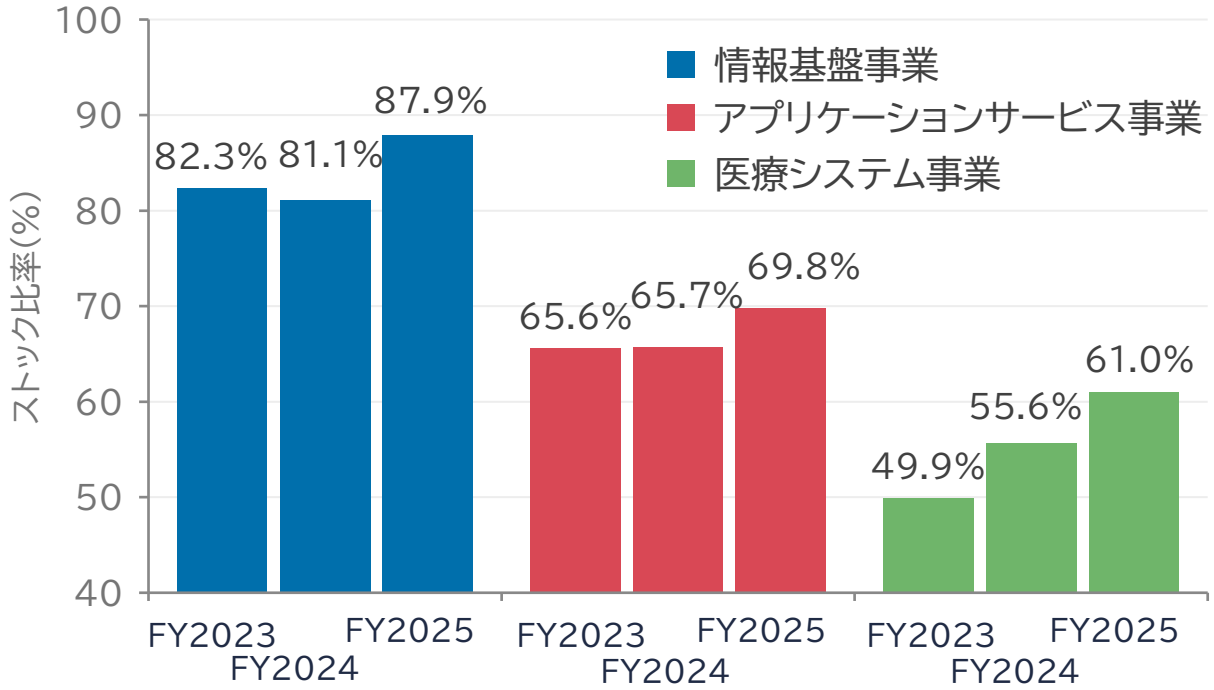
- AIによる処理速度向上・データ量増加が処理数・容量ベース課金のため収入増に直結
- AIを自社サービスに積極的に内包し提供することで、新たな収益源を創出（AI画像診断支援）

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

ストック比率と受注残高の時系列成長

- 目利き力と業務ノウハウが生む収益基盤の強さ

セグメント別ストック比率の推移（単体＋PSP）



受注残高（連結合計）の四半期推移



全社受注残高	情報基盤事業	アプリ・サービス事業	医療システム事業
+19.6%	+18.9%	+17.4%	+23.6%
（FY24→FY25）	受注残高788億円	受注残高71億円	受注残高194億円

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

成長ドライバーと更なる成長シナリオ

情報基盤事業

現状（実績数字は昨年度実績）

- ストック比率 87.9%（3年で+5.6pt）
- 受注残高 788億円（前年比+18.9%）
- 売上収益516億円・営業利益66億円で過去最高（前年比+13.2%/+24.9%）

成長ドライバー

- 取扱製品の拡充、「AIに対するセキュリティ」領域でのビジネス拡大
- AI活用やFirmus社との連携によるセキュリティ運用サービスの拡充
- Firmus社を軸にしたASEAN（マレーシア・シンガポール他）展開

成長シナリオ

- 高いストック比率により受注残高が拡大、取扱製品増加が事業拡大に直結
- セキュリティ運用サービスビジネスの拡充により利益率を向上

アプリケーション・サービス事業

現状（実績数字は昨年度実績）

- ストック比率 69.8%（3年で+4.2pt）
- 受注残高 71億円（前年比+17.4%）
- 売上収益98億円で過去最高（前年比+7.7%）、EdTechは投資先行で営業損失

成長ドライバー

- 生成AI技術のサービス化（FastGenie等）によるCRMの高付加価値化
- SE事業の取扱製品の拡充・自社ソリューションの展開
- EdTechの公立校本格展開
- CRM事業のASEAN展開・黒字化

成長シナリオ

- CRM, SE, EdTech共にストック比率は向上、受注残高の積み上げも拡大
- EdTech・CRM ASEANの営業損失の圧縮と、AI関連売上を新たな収益源に

医療システム事業

現状（実績数字は昨年度実績）

- ストック比率 61.0%（3年で+11.1pt）
- 受注残高 194億円（前年比+23.6%）
- 売上収益102億円・営業利益13億円（前年比+1.1%/+6.1%）

成長ドライバー

- PACSのクラウドシフト加速とシェア拡大
- PHR・病理分野などの新規事業拡大
- 「AI画像診断支援」プラットフォームの拡大
- ASEAN他（タイ・マレーシア・フィリピン・ネパール等）での事業展開

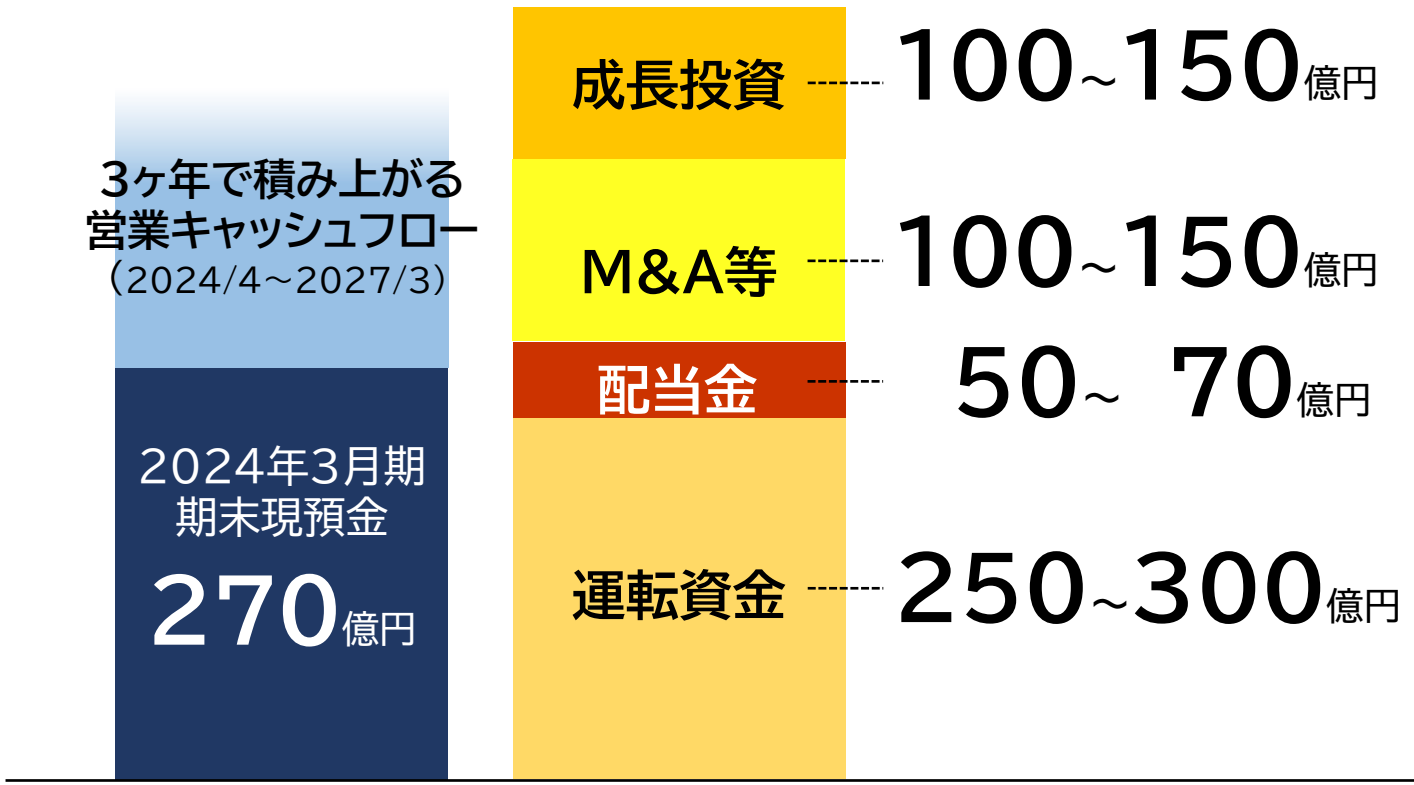
成長シナリオ

- PACSのクラウドシフトによりストック比率は向上、受注残高の積み上げも拡大
- AI画像診断・デジタル病理が進展し、次期中計での収益貢献が加速

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

開示しているキャピタル・アロケーション方針

2025年10月に発表した中期経営期間（2024年度～2026年度）の3か年のキャピタル・アロケーション方針



人材の採用・育成、処遇、研究開発等
・ポートフォリオ・サービスの拡充の人的リソースの獲得
・自社ソリューションの強化・拡充のための研究・開発投資

M&Aや資本業務提携等
・最先端の技術、専門知識、人的リソースの獲得

株主還元の拡充

事業継続に必要な資金
・海外仕入先への支払いと、お客様からの売上代金回収には時間差があるため、通常の事業運営に必要な資金に加え、受注金額の約1ヶ月分を、事業継続のための運転資金として確保。なお、複数年の大型契約の受注により　この金額は増加傾向。

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

FY2024-FY2026 中期経営計画 2年目までの投資実績

中計2年間で、**約175億円**の投資を実行

成長投資における人的資本への投資

約100億円

・**高度IT人材の採用・育成を前倒しで推進、**
300名以上の新規採用とグループ各社での処遇改善による投資（**約45億円**）

・医療システム事業でのAI診断支援等の機能拡張、CRMでのAIを活用した製品群等の開発、EdTechでのクラウド校務支援など、**自社ソリューションの拡充**を推進（**約55億円**）

戦略的M&AとR&Dの実行

約75億円

将来の成長の柱となる投資

・**2024年11月 Firmus社、2026年4月にメドメイン社への大型投資を実施**

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

今後のコミットメント：優先順位と規律ある還元

1 

成長投資

（ビジネス成長のための投資を継続し、さらなる収益成長を目指す）

2 

M&A等

（戦略的な事業拡大、非連続な成長の実現）

3 

株主還元（配当・自社株買い）

（自社株買いは、総還元性向100%を目指し、その目標の範囲内で、
市場評価に乖離が生じたと判断した場合には能動的に実行）

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

成長投資・M&Aと株主還元の両立

成長投資・M&Aを優先する原則を堅持した上で、**総還元性向100%**を目指す規律ある資本政策を実行

- FY2026から、次期中期経営計画末のFY2029までの4年間を対象
- FY2026（本年度）は自社株買い**32億円**を実行し、総還元性向100%を目指す
  - 現在の配当性向40%およびDOE7%のいずれか高い方を目安に配当する方針は維持
  - 配当に加えて、自社株買いを機動的に実施することにより、各年度において総還元性向100%を目指す



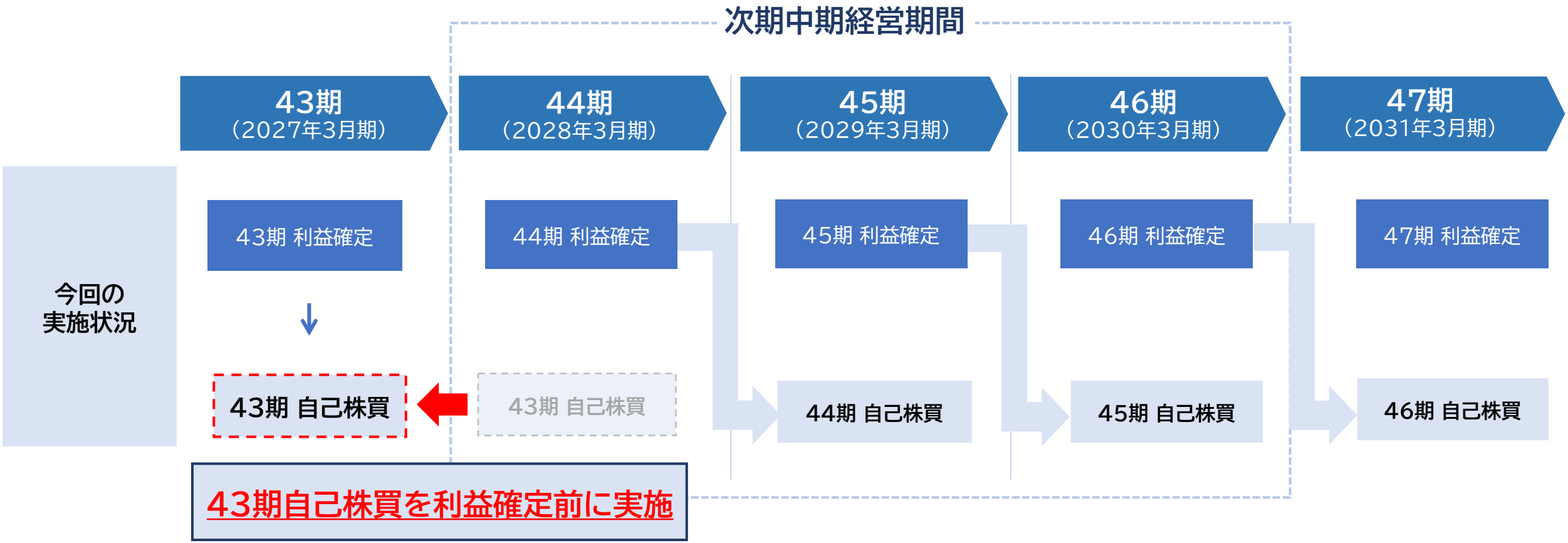
- 総還元性向100%は、今後の当期純利益の還元比率であり、成長投資やM&A等の原資とは区別
- 成長投資・M&A等は、総還元性向100%を目指す方針の下でも、積極的に実行可能
  - 運転資金水準（250～300億円）を含む手元資金を柔軟に活用するとともに、必要に応じて借入も活用し、財務的な柔軟性を確保
- 次期中計期間中の詳細なキャピタル・アロケーション方針は、次期中計策定時に改めて提示

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

自己株式取得　実施スケジュール

TechMatrix

・43期に自己株式取得を利益確定前に実施。
・44期以降の自己株式取得は利益確定後に実施予定。



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

5. 事業活動トピックス

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

中期経営計画 「取扱製品の拡大・新規サービスの立ち上げ」

proofpoint × TechMatrix

Proofpoint製品を導入されたお客様向けに、運用支援「TechMatrix Human Risk Insight」サービスを開始

【運用支援内容】

①システム管理
- 障害情報の確認/アラート監視
- 設定情報/運用状態の確認
- 新機能/Agentバージョンアップ計画支援

②検知精度最適化
- アラート検知状況/傾向分析
- False Positive分析
- ポリシー/閾値/辞書/正規表現等の改善提案チューニング作業も実施

③イベント分析/トリアージ
- アラート確認/影響分析
- コンテキスト調査/ステータス分類
- メール通知対応

④レポーティング分析
- 月次レポートで発生状況・推移を可視化
- 四半期レビューで改善提案と進捗確認
- 年次ヘルスチェックでベストプラクティスの提案

専門アナリストが、アラート分析、ポリシー最適化、レポート提供から運用改善まで一貫して支援し、Proofpointの運用負荷軽減と活用効果の最大化を実現

【サービスの特徴】

1.専門アナリストによる運用支援
2.継続的な検知精度向上
3.迅速な対応判断支援
4.リスクの可視化と改善提案
5.製品価値の最大化

継続的な監視・分析・改善を組み込むことで、運用品質とリスク低減の実効性を高める

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

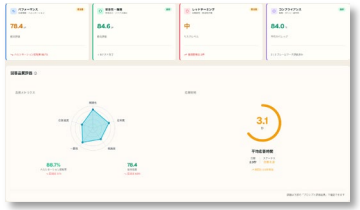
中期経営計画 「取扱製品の拡大・新規サービスの立ち上げ」「AIの活用」

■新規取扱製品：生成AI品質評価ツール「GENFLUX Evaluation」を販売開始

＜市場ニーズ＞
・生成AIの利用は、回答品質のばらつき、ハルシネーション、機密情報の露出、コンプライアンスなど、複合的なリスクを伴う
・各企業は「安全かつ再現性のある生成 AI 運用」を実現するための体制整備を進めている

GENFLUXの特徴

AIシステムの品質・安全性を評価



生成AIの品質・安全性を一覧で確認

回答の正確性や質問との関連性、参照情報との整合性に加え、機密情報の漏えい、不適切な出力、社内ルールへの適合性などを多面的に評価。人手では確認に時間がかかる生成AIのテストを効率化し、導入判断や品質改善を支援。

テストの作成・実行から結果の可視化までを一元化



回答ごとの評価スコアと問題の理由を可視化

テスト質問の生成、評価対象からの回答収集、評価の実行、結果の可視化を一つの環境で実行。評価スコアと個別の回答を確認し、問題のあるケースを特定。モデルやプロンプト、参照文書の変更後も同じテストで繰り返し評価することで、改善効果や品質低下を確認可能。

レッドチーミングで通常のテストでは見つけにくいリスクを検証



攻撃シナリオ別の評価結果を確認

レッドチーミングによって、生成AIの安全性を検証。通常の利用を想定した品質評価と組み合わせ、意図しない回答や情報漏えいにつながる弱点の発見を支援

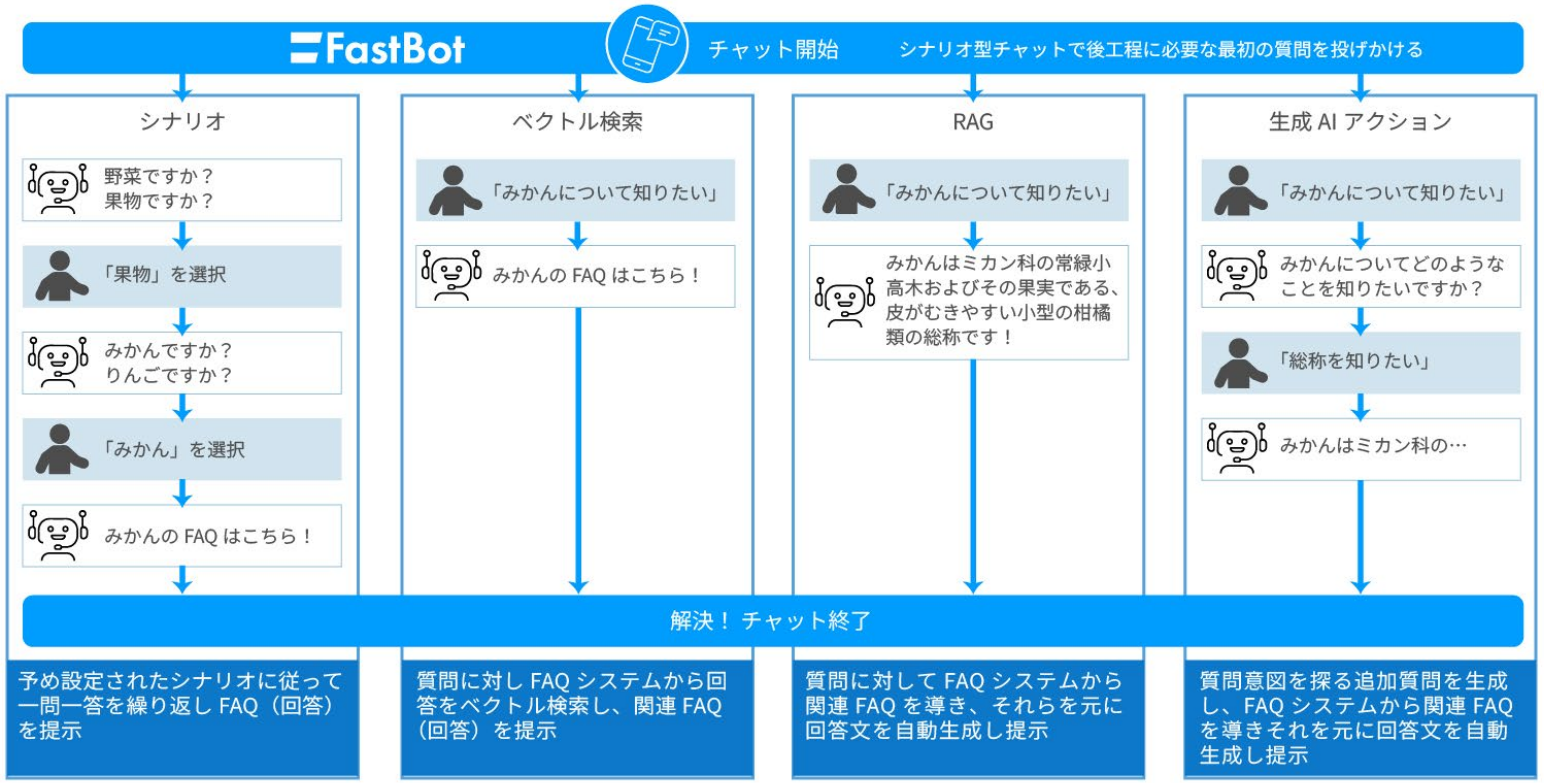
Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

中期経営計画「AIの活用」

■AIチャットボットソリューション「FastBot AI Suite」の提供を開始

【背景/概要】
・カスタマーサポートセンターの人材不足、問い合わせ件数の増加
・AIによる自動応答への期待が高まる一方、回答精度・誤情報の懸念

▶ チャットボット・生成AI・FAQナレッジを連携させた
「FastBot AI Suite」の提供開始



【FastBot AI Suite概要】

・業務ごとに異なる問い合わせや回答に求められる正確性に応じて、4つの自動応答方式を自由に組み合わせて利用可能

・「手元のFAQ」をそのまま回答の土台に活用、ナレッジ更新の負担軽減と応対品質の均質化を両立

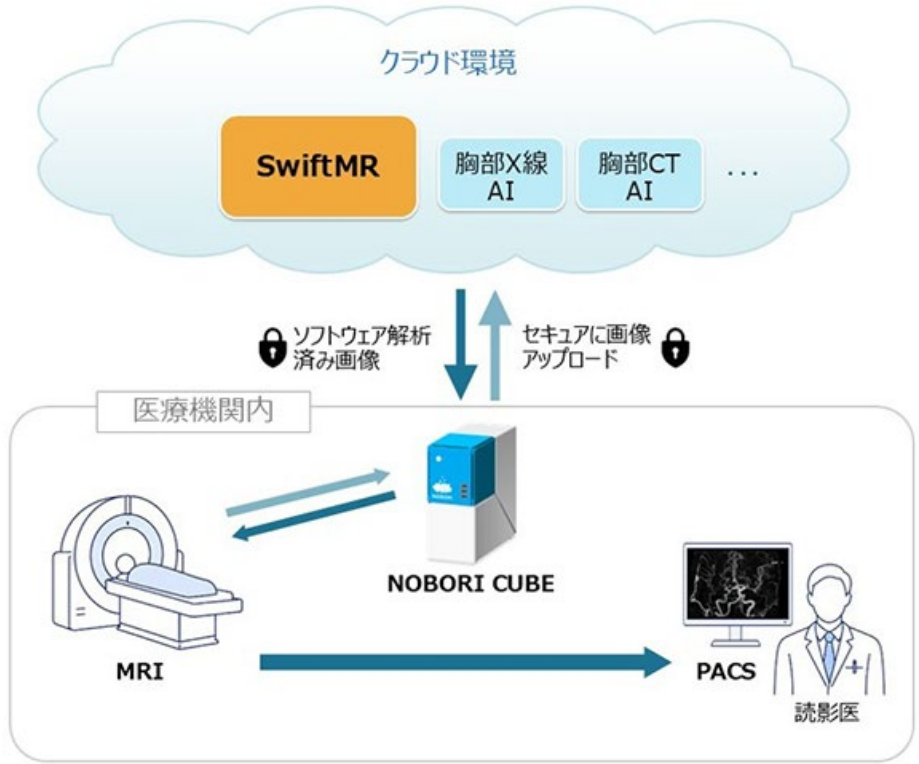
・応対履歴を一元化してナレッジ化する循環サイクルにより、誤情報を抑え、正確な回答を維持

利用者の利便性と情報の信頼性を両立した顧客対応の自動化を実現

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

中期経営計画 「多様なアライアンス・M&A」「AIの活用」

■PSP株式会社は、画像診断支援AIプラットフォームに「SwiftMR」を追加。
短時間で撮像したMRI画像を、AIにより高画質化。



【SwiftMR】
・AIRS Medicalが開発した、ディープラーニング技術を用いたMRI画像再構成ソフトウェア
・MRI装置で短時間に撮像した画像に対してAIによるノイズ低減・画像再構成を行い、画質を確保しながら撮像時間を短縮する運用を支援

利用イメージ

MRI装置で撮像された画像は、NOBORI CUBEを介してAIRS Medicalのクラウド環境へ伝送され、SwiftMRによるAI画像再構成が行われた後、処理済み画像が医療機関へ返却。医療機関は新たにサーバーやシステムを個別に構築することなく既存の環境を活用してSwiftMRを利用することが可能

MRI検査の効率化や、医療現場における診療の質の向上に貢献

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

中期経営計画 「多様なアライアンス・M&A」

■一般社団法人京都府医師会、株式会社Preferred Networks（PFN）、PSP株式会社の3社で共同開発した、AI技術を用いた胸部X線画像診断支援プログラムが、2026年京都府内で実施される肺がん検診に本格導入。

胸部X線画像診断支援プログラム

京都府医師会が収集・診断したX線画像のデータを**AIが学習** ▶ **学習したAIが検診者の画像を解析（診断支援）** ▶ **最終的な判断は医師が担う**

【解析結果の読影端末での見え方】





異常所見の疑いが低いと「No Findings」が表示される

【背景】

・読影件数が非常に多く、読影医の確保と診断負荷が課題

・従来のAI技術を用いた診断支援は、異常所見の疑いが低い場合も陽性と判断されることが多い

胸部X線画像診断支援プログラムの導入により

・読影医の業務負担の軽減
・読影体制の維持と持続的な読影精度の向上
・京都府民の健康増進

を目指していく。

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.



EOF

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

（ご参考）
中期経営計画
「 Creating Customer Value in the New Era 」

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

テクマトリックスの企業理念

未来創造型企業として新しい時代を生き抜くには、
新規事業の創出が不可欠

Mission Statement

より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団

行動指針

- 共存・共栄の精神のもと、誠実、かつ真摯に顧客貢献・社会貢献に取り組む
- 常に謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、新しい技術や新しいビジネスに挑戦し続ける
- オープンな議論を交わし、全員がチームの成功と成長にコミットする

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

新中期経営計画(2024年~2026年)のスローガン



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

新中期経営計画への想い

テクマトリックスグループは
目利き力と**業務ノウハウ**を詰め込んだソリューションで社会課題を解決し
より良い未来を創造し続けたい

目利き力	×	業務ノウハウ	=	より良い未来
・解決すべき社会課題を発見すること ・最先端のテクノロジーを見い出すこと		・専門性を要する特定の業界・業務に対してお客様よりも深い業務の知見を有すること		・お客様の利便性、業務効率性の向上 ・お客様が安全にかつ安心して暮らせる社会

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

新中期経営計画 – 顧客価値の創造

Creating Customer Value

顧客価値の源泉（DNA）

業務ノウハウを詰め込んだ
ソリューションの提供

信条・心ざし（企業文化）

顧客への手厚い支援
逃げずに粘り強く対応

社員一人ひとりが挑戦し
成長できる環境

事業を支えるインフラ（顧客価値を提供するベース）

人財の確保とリテンション、迅速 / 正確に業務を遂行するためのシステム

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

新中期経営計画 – 新しい時代

the New Era

労働人口の減少



×

新たなテクノロジーの出現



×

企業の社会的責任



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

新中期経営計画 - 基本戦略

目的(実現したいこと)

- 事業領域の拡大
- 海外市場での事業の拡大
- データを活用したビジネスの創造

手段(実現に向けて)

- 取扱製品の拡大 新規サービスの立ち上げ
- AIの活用
- グループ間連携強化によるシナジーの創出
- 多様なアライアンス・M&A (既存事業の拡充と新規事業の創出)
- 人材育成とリテンション (ダイバーシティ推進含む)

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

新中期経営計画 - 成長マトリックス

情報基盤事業
アプリケーション・サービス事業
医療システム事業

	既存（製品・サービス）	新規（製品・サービス）
既存市場	**市場浸透（深耕/シェアUP）** サイバーセキュリティ対策 代理店（パートナー）との戦略アカウントの深堀り 開発基盤の構築、導入支援サービス（SE事業） クラウドシフトによるPACS事業のストックビジネスの強化	**製品・サービス拡大** 総合セキュリティ監視サービス「TPS」 生成AI技術のサービス化（CRM事業） 開発データ分析事業（SE事業） AI画像診断支援サービスの事業拡大
新規市場	**市場開拓** アジア地域での事業展開の模索 ASEAN地域への事業拡大（CRM事業） 公立校への本格展開（EdTech事業） 公共ビジネスへのDX化とCX向上（BS事業） アジア地域での事業拡大	**多角化** PHRサービスの事業拡大 病理分野への事業展開

SE事業：ソフトウェア品質保証事業
BS事業：ビジネスソリューション事業

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

新中期経営計画 - データの利活用

当社ソリューションのお客様のデータ利活用による自動化・省力化を支援



業務ノウハウ
（ソリューション）

＋



活用する
データ

×



AI

＝



自動化・省力化

- **医療システム事業**
  医用画像管理を含む医療機関の業務プロセス
- **CRM事業**
  コンタクトセンターのオペレーション及びナレッジ管理
- **SE事業**
  ソフトウェア開発プロセス及び品質管理
- **ネットワークセキュリティ事業**
  セキュリティ対策及びセキュリティ運用

- **医療システム事業**
  医用画像データ
  ＊5,000万人超、3億件超のデータ数（2024年3月期）
- **CRM事業**
  コール履歴データ
  問い合わせ履歴データ

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

（ご参考）データ・その他

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

76,111,000

「NOBORI」に画像を保管している患者数

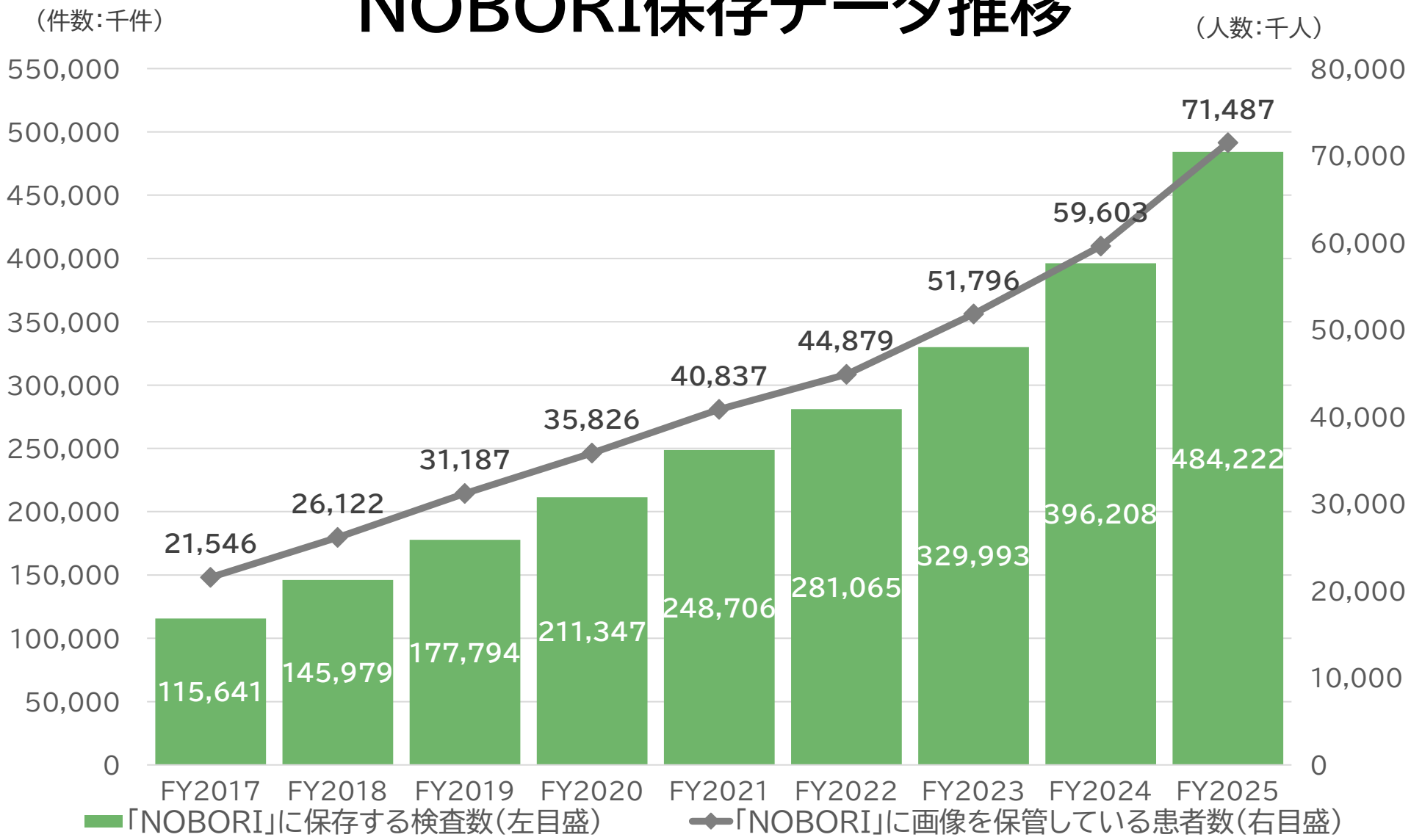
526,681,000

「NOBORI」に保存している検査件数

（2026年9月末時点）

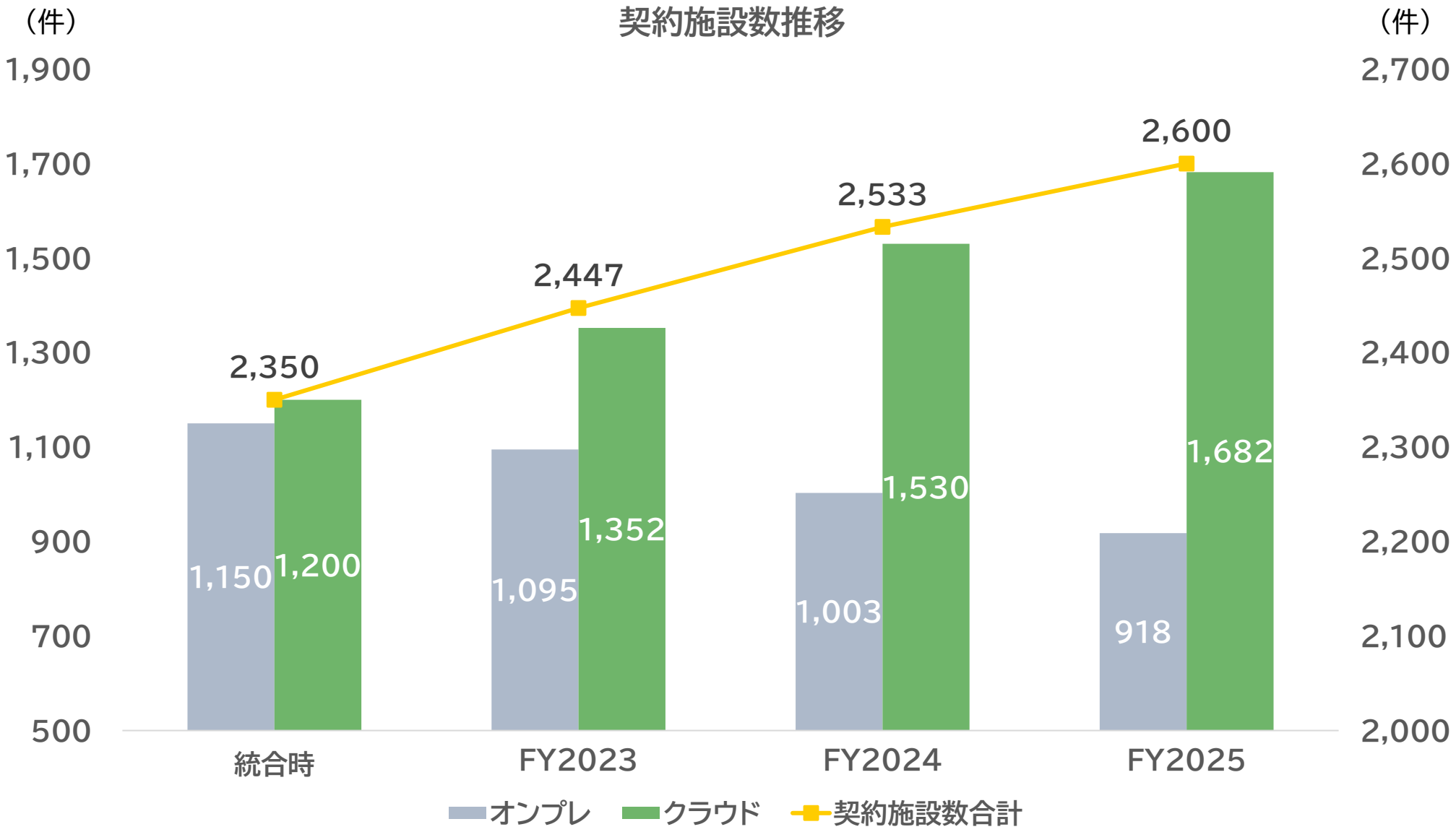
Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

NOBORI保存データ推移



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

医療システム事業　PACS契約施設数推移

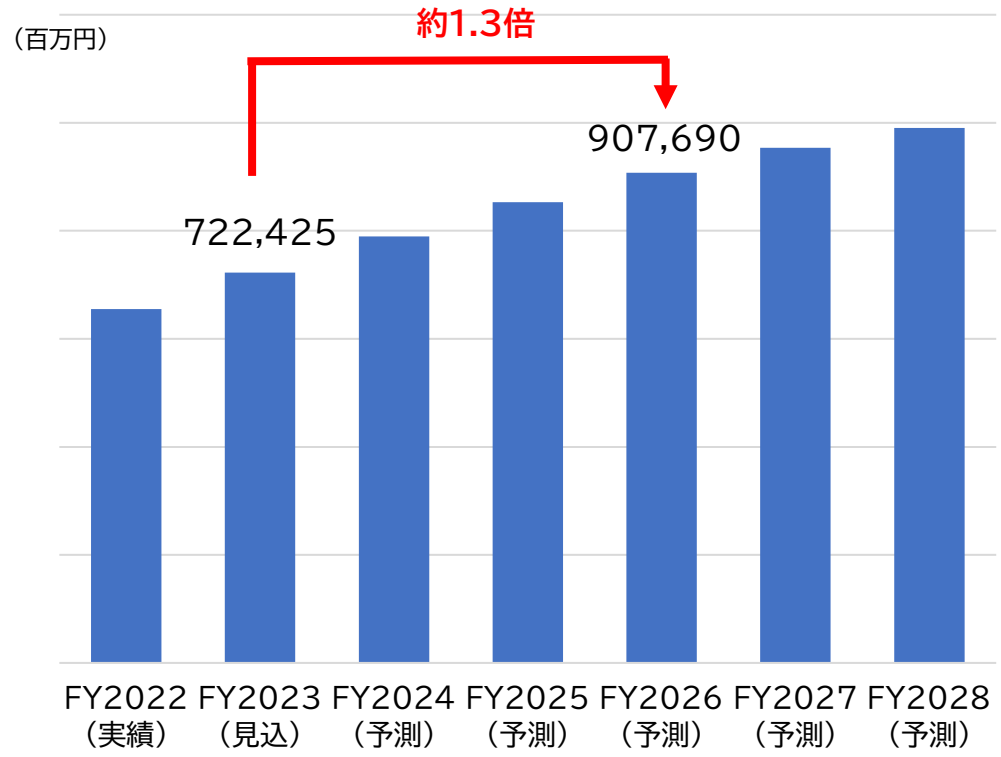


Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

（ご参考）ネットワークセキュリティ市場環境

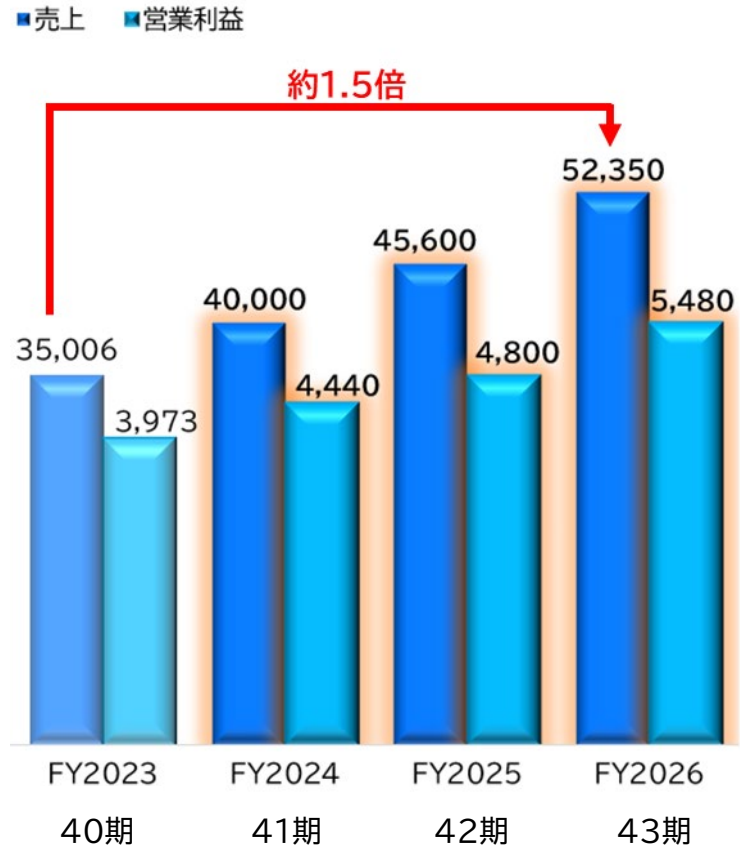
ネットワークセキュリティビジネスの市場は、今後も拡大が見込まれている

ネットワークセキュリティビジネスの国内市場予測



出典：富士キメラ総研「ネットワークセキュリティビジネスの国内市場を調査」を基に作成
https://www.fuji-keizai.co.jp/press/detail.html?cid=23140&la=ja,（参照 2024-04-01）

当社情報基盤事業の中期計画



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

（ご参考）ネットワークセキュリティ市場環境

当社の主な取引先である超大手・大手企業において 今後も継続的な投資が見込まれている

国内の企業規模別　ネットワークセキュリティ投資動向

	2022年度	2028年度予測	2022年度比
超大手	2,651億円	4,055億円	153.0%
大手	2,090億円	3,313億円	158.5%
中堅	1,183億円	1,707億円	144.3%
中小	627億円	830億円	132.4%

超大手：従業員数5,000名以上
大手　：従業員数1,000～4,999名
中堅　：従業員数300～999名
中小　：従業員数299名以下

超大手、大手は、セキュリティ対策の取り組みに積極的であるため、投資額は順調に拡大している。サイバー攻撃の高度化や近年増えているセキュリティ事案による事業停止を防ぐため、**今後も積極的な取組が想定される。**

中堅、中小はセキュリティ対策への予算が限定されており、今後の投資額の伸びは超大手、大手を下回るとみられる。**しかし、各業界で定められるセキュリティガイドラインに準拠するなど対応が進み堅調な伸びが期待される。**

出典：富士キメラ総研「ネットワークセキュリティビジネスの国内市場を調査」を基に作成
https://www.fuji-keizai.co.jp/press/detail.html?cid=23140&la=ja,（参照 2024-04-01）

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

パーソナルヘルスレコード（PHR）のソフトウェア、2027年の市場規模が1,320万米ドル到達予測

市場成長の要因

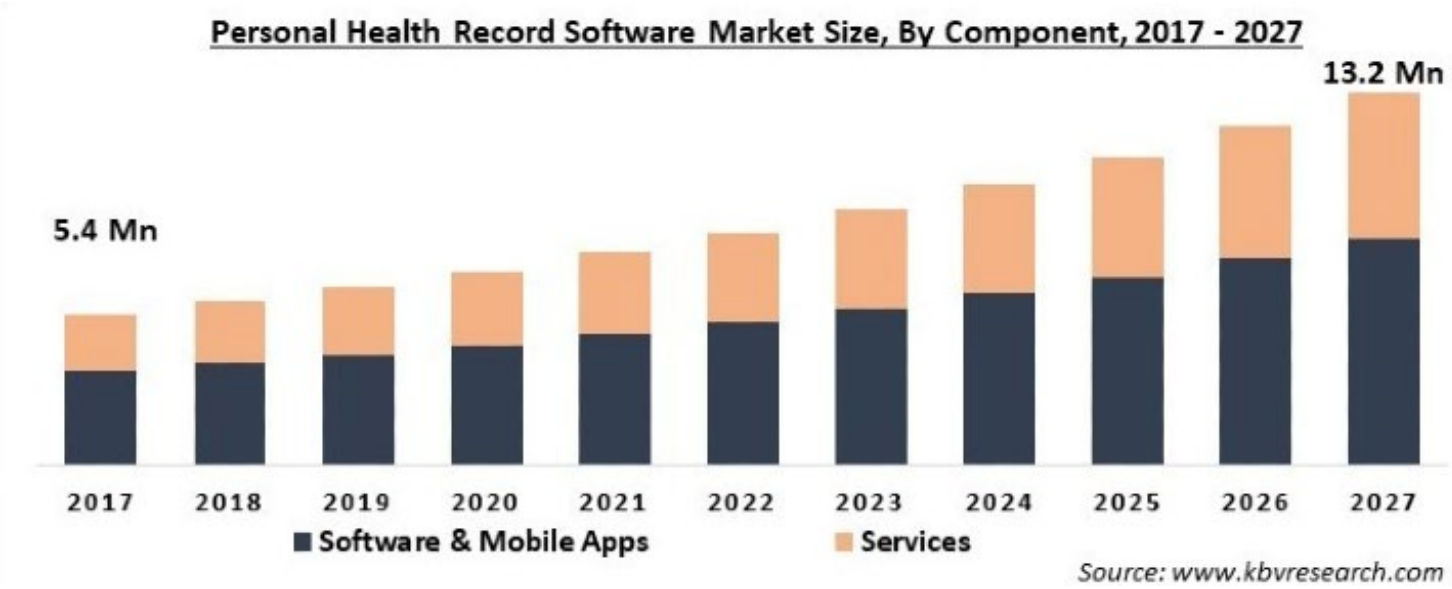
各国政府の取り組みの増加

ヘルスケアのペーパーレス化を推進する政府の取り組みが各地域で活発化。医療機関を利用する際に複数の書類や処方箋を持ち歩く負担から、患者は個人用パーソナルヘルスレコードソフトウェアを選ぶようになっている。

ヘルスケア業界におけるデジタル化の進展

世界的にデジタル化が進んでおり、特にヘルスケア分野では、より高度でコンパクト、かつ利便性の高い技術やソリューションが求められている。PHRソフトウェアは、医師と患者の住所、患者のアレルギーなど、さまざまな情報を個人の健康記録を保持するのに役立ち、ヘルスケア管理を向上させる。

パーソナル健康記録ソフトウェアの世界市場（コンポーネント別）



出典：株式会社グローバルインフォメーション
「パーソナル健康記録ソフトウェアの世界市場：コンポーネント別、アーキテクチャタイプ別、展開モード別、地域別展望、産業分析・予測（2021年～2027年）」（KBV Research）

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

ネットワークセキュリティ分野

国内トップクラスの導入実績をもとにお客様に最適なサービスを提供

paloalto NETWORKS

2年連続受賞
・JAPAC Distribution Partner of the Year
(2023,2024)
7年連続受賞
・Distributor of the year
(2018,2019,2020,2021,2022,2023,2024)
2年連続受賞
・Excellence in support of the year
(2018,2019)

proofpoint.

2025受賞
・Regional Partners of the Year
6年連続受賞
・Partner of the year
(2021,2022,2023,2024,2025,2026)
2022～2023,2025～2026受賞
・Deal registration of the year
(2022,2023,2025,2026)
2026受賞
・Distributor of the Year APJ

DELL Technologies

2019～2021, 2023～2024受賞
Channel Services Delivery Excellence Award
(旧Services Delivery Excellence Awards)

TANIUM

2021受賞
・MVP Partner of the year
2022受賞
・Most Dedicated Partner of the Year

COHESITY

2022受賞
APJマーケティング・パートナー・オブ・ザ・イヤー

【その他受賞実績】



Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.



＜本資料の取り扱いについて＞
本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。
従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

＜お問合せ先＞
テクマトリックス株式会社　経営企画課　TEL:03-4405-7802　ir@techmatrix.co.jp

Copyright (c) 2026 TechMatrix Corporation. All rights reserved.